

2019年度 公益社団法人乙訓青年会議所 事業報告

通常総会

月 日	場 所	議 領
1.31	長岡市中央生涯学習センター 3階 メインホール	1. 2018 年度 公益社団法人 乙訓青年会議所 事業報告書（案）に関する件 2. 2018 年度 公益社団法人 乙訓青年会議所 収支決算書（案）に関する件 3. 2019 年度 公益社団法人 乙訓青年会議所 第2次収支予算書（案）に関する件

一般 4名 出席人数 36名 委任状提出者 24名
欠席者 6名

第1回臨時総会

月 日	場 所	議 領
10. 4	長岡市中央生涯学習センター 3階 メインホール	1. 2020 年度 公益社団法人 乙訓青年会議所 役員選任（案）に関する件

一般 0名 出席人数 33名 委任状提出者 29名
欠席者 7名

第2回臨時総会

月 日	場 所	議 領
12. 6	長岡市立 産業文化会館 1階 大会議室	1. 2019 年度 公益社団法人 乙訓青年会議所 正会員除名（案）に関する件 2. 2020 年度 公益社団法人 乙訓青年会議所 組織図（案）に関する件 3. 2020 年度 公益社団法人 乙訓青年会議所 事業計画（案）に関する件 4. 2020 年度 公益社団法人 乙訓青年会議所 正副・委員会 活動計画（案）に関する件 5. 2020 年度 公益社団法人 乙訓青年会議所 諸登録料（案）に関する件 6. 2020 年度 公益社団法人 乙訓青年会議所 第1次収支予算書（案）に関する件

一般 0名 出席人数 32名 委任状提出者 26名
欠席者 11名

2019年度事業報告	事業区分	その他	作成日	2019年 1月 15日
会議・委員会	40周年特別委員会	議長・委員長	山口 雄司	
事業名	1月例会・新春交歓会			
実施日時	2019年 1月 11日			
実施場所	(会 場)ハイアット・リージェンシー京都 1階 ボールルーム 1月例会 ボールルームⅠ 新春交歓会 ボールルームⅡ (所在地)京都市東山区三十三間堂廻り644番地2 (TEL) 075-541-1234			
事業目的	<p>【対外】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1月例会 <p>本年度三浦理事長の掲げるスローガン「新」に挑む、の想いと、乙訓青年会議所の方向性、活動内容をご理解して頂くことを目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新春交歓会 <p>乙訓青年会議所メンバーと参加者との信頼関係をさらに深め、今後の乙訓青年会議所の運動にご協力して頂ける関係性を構築することを目的とする。</p> <p>【対内】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1月例会 <p>本年度の乙訓青年会議所の方向性や三浦理事長の掲げるスローガン「新」に挑む、の想いや活動内容を理解した上で、1年間の活動や設立40周年事業に向けて、メンバーが一枚岩となることを目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新春交歓会 <p>本年度の乙訓青年会議所の方向性や三浦理事長の掲げるスローガン「新」に挑む、の想いや活動内容を理解して頂くことで、メンバーと参加者とさらに信頼関係を深めることを目的とする。</p>			
事業の内容	<p>(1月例会)</p> <p>理事長挨拶 ・三浦理事長に年頭のご挨拶を頂き、スローガン「新」に挑む、の想いと一年間の方向性を述べて頂きます。</p> <p>直前理事長挨拶 ・崔直前理事長</p> <p>スポンサーJC挨拶 ・京都青年会議所 山野 修平理事長</p> <p>近畿地区協議会会长挨拶 ・近畿地区担当常任理事並びに近畿地区協議会 松田 晋会長 ご名代 中山 良会務担当副会長</p> <p>京都ブロック協議会会长挨拶 ・京都ブロック協議会 木戸 康介会長</p> <p>(新春交歓会)</p> <p>オープニングアトラクション ・ダンス(A. KクラブWith40周年特別委員会)</p> <p>オープニング映像上映</p> <p>開会宣言</p> <p>正副メンバー登場 ・正副メンバー登壇</p> <p>理事長挨拶 ・三浦理事長</p> <p>来賓紹介 ・岩本副理事長</p> <p>来賓挨拶 ・ご来賓名(京都府山城広域振興局 副局長 山本 哲司 様) ・ご来賓名(長岡市 市長 中小路 健吾様 ご名代 副市長)</p> <p>乾杯 ・飛竹会会长(谷明憲会長)</p> <p>食事歓談</p> <p>委員会紹介 ・委員会ソングを流しながら、委員会ごとに登壇して頂き、委員会メンバーの紹介をして、一年間の抱負を述べて頂く</p> <p>食事歓談</p> <p>乙訓青年会議所出向者紹介 ・出向者全員登壇(代表者1名一言)</p> <p>40周年PR映像上映</p> <p>謝辞 ・上原副理事長</p> <p>来賓退出</p> <p>若い我等齊唱</p> <p>専務理事 小西専務理事</p>			

目的達成の検証	目的に達した点	<p>【1月例会】</p> <p>① 三浦理事長からのご挨拶により、参加頂いた方に2018年度の乙訓青年会議所の方向性を理解して頂くことができた。</p> <p>② 壇上にて委員会紹介を行ったことで、参加頂いた方々に乙訓青年会議所の委員会を知って頂き、各委員会の活動を理解して頂くことができた。また、各委員長より本年度の意気込みを述べて頂いたことで、委員会メンバーも身が引き締まる思いで一年間のスタートを切ることができた。</p> <p>③ 2018年度のスタートとして、厳粛に例会を進行することで、メンバーが青年会議所運動に対する意識の高揚を図ることができた。また、厳粛ななかに統一感を持たせることで参加者の方には乙訓青年会議所の一体感を感じて頂くことができた。</p> <p>【新春交歓会】</p> <p>① 乙訓青年会議所の歴史や活動風景を取り入れ、本年度のスローガン「克己(こつき)！ 誇りある集団へ」に結び付けるオープニング映像を流すことで、乙訓青年会議所の歴史を感じ、メンバーの活動意欲を喚起し、2018年度のスタートを一枚岩となって切ることができた。</p> <p>② 来訪JCの皆様をお迎えして2018年度の乙訓青年会議所の一年間の方向性をご理解して頂くことで、相互の協力関係を親密にし、また出向に関して互いの意識向上を図ることができた。</p> <p>③ 地元行政、特別会員、他LOMの方をお招きし、名刺交換やお話をすることで親睦が深まり、乙訓青年会議所の運動を理解して頂き、今後の活動に繋げることができた。</p>						
	目的に達しなかつた点	無						
今後の展望		単年度制で活動している組織として、1月例会・新春交歓会を毎年開催される惰性的な事業ではなく、一年間限りの理事長のもとで来訪された皆様に対し、本年度の意気込みを示すことができる一期一会の機会として来訪された皆様に示す機会として取り組む。						
参加動員数	計画	一般	90名/113名	結果	一般	96名/121名		
		JC会員	55名/55名		JC会員	48名/49名		
		合 計	145名/168名		合 計	144名/170名		
予算	内部事業資金	¥320,000	外部導入資金	¥0	予算合計	¥320,000		
決算	内部事業資金	¥319,905	外部導入資金	¥0	決算合計	¥319,905		

2019年度事業報告	事業区分	その他	作成日	2019年 3月31日
------------	------	-----	-----	-------------

委員会	JAYCEE育成委員会	委員長	藤田 真也
事業名	2月例会		
実施日時	2019年 2月14日 18:30~21:07		
実施場所	大山崎ふるさとセンター3階ホール北・南 (所在地)京都府乙訓郡大山崎町大山崎竜光3 (TEL)075-956-2310		

事業目的	【対内】メンバー一人ひとりが活動に対して目的意識をもつことを目的とする。		
事業の内容	<p>●委員長による説明「失敗からの学び」 担当:藤田委員長 ①私自身が目的をもたずにJC活動をしていた体験談から、それがいかに自己成長に繋がっていないか、そして失敗から学び、JC活動の目的をもつ重要性に気づき、自身が変化し、自己成長に繋がったことを伝える。</p> <p>②事業の目的とは別に、メンバー一人ひとりのJC活動における目的を設定する事業であることを説明する。</p> <p>●第1部「目的設定」 説明、進行:西田委員 ①目指すべき人物像を記載するための方法として、バケットリストを用いて自身の目指すべき人物像を記載して頂く。</p> <p>②バケットリストに挙げた項目の中で、特に自身が重要と感じる項目を4つピックアップし、自身の目指すべき人物像を一文にして頂く。</p> <p>●第2部「マンダラチャート」 説明、進行:島本委員 ①目的達成のために向けた行動が一目でわかる「マンダラチャート」の作成をして頂く。</p> <p>●第3部「発表」 説明、進行:中野委員 ①各テーブルにて、「マンダラチャート」を用いて自身の設定した目的や目的達成のためにすべきことを発表をして頂く。</p>		
目的達成の検証	目的に達した点	①やってみたい内容を抽出しバケットリストに記入し、JC活動において「やってみたいこと」、「こんな自分になってみたい」など自身が目指すべき人物像や目的が明確になったことで、積極的にJC活動に参加する一助となった。 ②各委員会メンバーの前で「マンダラチャート」に記入した目的を達成するための行動を委員会メンバーに発表し共有することで、自身が目指すべき人物像や目的を委員会メンバーに決意表明でき、自己を奮い立たせ、真剣に取り組む重要性を理解して頂けた。	
目的達成の検証	達目的なにかつた点	①失敗からの学びにおいて、「自身が失敗し、気付いた」発表内容であって、計画段階で伝えるべき項目の「自分が変化し、自己成長に繋がった」内容ではなかつたため、メンバーに自己成長の重要性を伝えることができなかつた。 ②マンダラチャートを用いて記入して頂くことで自分が目指すべき人物像(目的)に達するためには、どのような行動を起こす必要があるのかを理解でき、JC活動における学びの機会を再認識して頂く予定だったが、JC活動内で目的達成を目指すという条件を設定したため、抽出の難易度が上がり、すべての項目に対する行動を導けなかつたメンバーもいたので、全てのメンバーに学びの機会を再認識して頂けなかつた。	

今後の展望	<p>・目的をもって行動することの重要性、目的の導き方、また、その目的を達成するための具体的な行動の抽出方法などを理解して頂くことができ、今後のメンバーの活動において「目的意識の醸成」が図れると考えます。また、JAYC EE育成委員会としてもバケツリスト、マンダラチャートの使用を推し進めていき、正会員メンバー全てが目的をもった行動、活動をして頂けるように努力したいと考えております。</p>					
参加動員数	計画	一 般	0	結果	一 般	1
		JC会員	57		JC会員	45
		合 計	57		合 計	46
予算	内部事業資金	¥9,800	外部導入資金	¥0	予算合計	¥9,800
決算	内部事業資金	¥9,672	外部導入資金	¥0	決算合計	¥9,672

2019年度事業報告	事業区分	公3	作成日	2019年 5月10日
------------	------	----	-----	-------------

委員会	広報戦略委員会	議長・委員長	今井 政樹
事業名	3月オープン例会		
実施日時	2019年 3月14日		
実施場所	長岡市中央生涯学習センター セレモニー 6階創作室1 講演 3階メインホール		

事業目的	【対外】自分たちの運動や活動、生業(商売)を効果的に発信することが、地域の方々が広報に関心をもち、地域の活性化に繋がることを認識して頂くとともに、乙訓青年会議所の運動や活動に関心をもって頂き共感に繋げる。 【対内】乙訓青年会議所の運動や活動を効果的に発信することが、地域の方々が関心をもち共感に繋がることを認識して頂く。	
事業の内容	<p>【趣旨説明】 時間:3分 発表者:今井委員長</p> <p>【講演】 時間:65分 テーマ:「乙訓はバッドロケーション！日本一カフェで街を変える男」～佐藤裕久～ 講師:佐藤 裕久氏(株式会社 バルニバービ)</p> <p>【質疑応答】 時間:7分</p> <p>【委員会まとめ】 時間:5分</p>	
達成目的に点	達成目的に点	①アンケート結果から、乙訓青年会議所の運動や活動に関して、47%「すごく共感できた」「共感できた」と回答頂けたことから、乙訓青年会議所の運動や活動に関して、一定の関心や共感をもって頂けた。 ②講師の経験は自身の事業や会社、地域、団体を展開する際のヒントを与え、地域の活性化に繋がることに関心をもって頂くとともに、我々の運動や活動に共感を得られる一助となった。
目的達成の検証	達成目的に点	①講師と打ち合わせを充分に行えなかつたため、広報の手法についてお話を頂けず、自分たちの運動や活動、生業(商売)を効果的に発信することが、地域の活性化に繋がることを認識して頂けなかつた。 ②委員会内の打ち合わせ不足とシミュレーション不足から、来場者目線に立った設えを行うことができず、乙訓青年会議所の魅力を充分に伝えられなかつた。 ③契約上の制約から打ち合わせを充分に行えなかつたため、講師のお話を乙訓青年会議所の事業と関係する部分を取り込んで頂けず、結果として、対外においては乙訓青年会議所の運動や活動を効果的に発信できず、対内においては効果的な発信が地域の方々の関心と共感に繋がることを認識して頂くことができなかつた。 ④乙訓地域にある飲食店の話を取り入れて頂いたが、特色を踏まえた広報に関する講演内容ではなかつたため、自分たちの運動や活動、生業の効果的な広報が街を活性化できるという認識には至らず、行動を起こす一助にはならなかつた。 ⑤委員会まとめにおいて、乙訓青年会議所の運動を発信する内容を取り入れたが、講師のお話とリンクせず、発信する内容の重要性を伝えることができなかつたため、広報の大切さの理解や自分たちの運動や活動、生業(商売)への関心が地域の活性化に繋がることを認識して頂くには至らなかつた。

今後の展望	乙訓青年会議所の運動や活動を効果的に発信するためには、どのようなことが必要か考える機会を創出する。					
参加動員数	計画	一 般	180	結果	一 般	34
		JC会員	57		JC会員	45
		合 計	237		合 計	79
予算	内部事業資金	¥482,319	外部導入資金	¥0	予算合計	¥482,319
決算	内部事業資金	¥482,319	外部導入資金	¥0	決算合計	¥482,319

2019年度事業報告	事業区分	公3	作成日	2019年 4月28日
------------	------	----	-----	-------------

会議・委員会	40周年特別委員会	議長・委員長	山口 雄司
事業名	4月100%出席例会・記念式典・懇親会		
実施日時	2019年 4月13日		
実施場所	<p>(会 場) (事前説明会) ウェスティン都ホテル京都・愛宕の間 (例会・式典・懇親会) ウェスティン都ホテル京都西館4F・瑞穂の間 (所在地) 〒605-0052 京都市東山区粟田口華頂町1(三条蹴上) (TEL) (075) 771-7111 </p>		

事業目的	<p>(対外)乙訓青年会議所の地域をより良くする団体としての運動の方向性を地域諸団体、行政関係各位に、ご理解して頂き、さらなる協力関係を構築することを目的とする。</p> <p>(対内)39年間の歴史を振り返り、乙訓青年会議所の運動の方向性を再認識し、先輩諸兄姉との交流を通じて創始の精神と5年後に向けてのVisionを共有するとともに、今後の運動に対する意識を向上させることを目的とする。</p>
事業の内容	<p>【4月メモリアル100%出席例会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理事長挨拶(4分) ・直前理事長挨拶(3分) ・委員長趣旨説明(4分) <p>【創立40周年記念式典】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オープニング映像(5分) 乙訓青年会議所の成り立ちを流し現在から過去の事業を紹介する。 ・物故会員紹介、黙祷(2分) お亡くなりになられた特別会員を紹介し、黙祷を捧げる。 ・来賓紹介(7分) ・来訪JC紹介(5分) ・名誉会員紹介(1分) 鮎子田様を紹介する。 ・理事長挨拶(8分) ・来賓祝辞(13分) <p>京都府知事・国会議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポンサーJC理事長挨拶及び感謝状、記念品贈呈(8分) スポンサーJCである京都青年会議所理事長よりご挨拶を頂く。また、この乙訓の地に青年会議所を築いて頂いたことを感謝し、感謝状、記念品を贈呈する。 ・祝電披露(2分) ・ビデオ「40年の歩み」(8分) <p>前半は創立から30周年までを中心に紹介し、後半の約4分間で30周年以降の事業などを紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別会員紹介(2分) ・乙訓JCじゃがいもクラブ会長挨拶(3分) ・40周年チャリティーコンペの寄付金授与(2分) ・「未来Vision」発表(10分) 過去5年を振り返り乙訓青年会議所の運動を地域に寄与したことを話して頂いて、2019年度からの行動指針を映像にて発表する。 ・謝辞(3分)

目的達成の検証	目的に達した点	<p>【4月メモリアル100%出席例会】</p> <p>① 4月メモリアル100%出席例会では、記念式典、懇親会について理事長・直前理事長・委員長にお話頂くことで正会員の創立40周年記念式典、懇親会の成功へ向けてメンバーの士気を高めることができた。</p> <p>【創立40周年記念式典】</p> <p>① 参加動員計画より多くの先輩、一般、他団体に来て頂いたことで、多くの人に感謝と5年後の乙訓の目指すべき目標達成と今後の方向性を伝えることができた。</p> <p>② 記念式典では先輩諸兄姉の功績、行政、地域諸団体の方々のご協力のおかげであることを正会員が認識し、「感謝」の気持ちをもって設営に取組むことができた。</p> <p>③ 記念式典では5年後の未来Visionを発表し、お越し頂いた皆様に乙訓青年会議所の考える今後の方向性を理解して頂くことができた。</p> <p>【懇親会】</p> <p>① 懇親会で鏡開きを行政関係、特別会員の皆様と行うことで、皆様と一緒に乙訓青年会議所の運動を行っていくという姿勢を見せることができた。</p> <p>② 懇親会においてアトラクションを見て楽しんで頂くことができたとともに、乙訓地方の地域性をお越し頂いた皆様に感じて頂くこともできた。</p> <p>③ 式典・懇親会を通して現役メンバーの絆を今以上に深めることができた。</p>					
	達成しなにかつた点	<p>【4月メモリアル100%出席例会】</p> <p>① 4月メモリアル100%出席例会では、メモリアル100%出席の意味合いを正会員メンバーに伝えきれず、100%出席ができなかった。</p> <p>【創立40周年記念式典】</p> <p>① 記念式典では会場にいるメンバーが少なかったので、先輩諸兄姉の功績、行政、地域諸団体の方々のご協力のおかげであることを、挨拶等を通じて認識する場所であったが全員に伝えきれなかった。</p> <p>② 記念式典では、正会員メンバーが設え側にいるため、未来Visionの発表が見られず、式典内での運動に対する向上ができなかった。</p>					
今後の展望	単年度制で活動している組織として、周年の記念式典・懇親会は5年に一度開催される惰性的な事業ではなく、その歴史応じた変化や、時代に合ったやり方で行い、その中でも創始から現在に至るまでの背景を勉強しながら行ってほしいと考えます。						
参加動員数	計画	一般	0/123/123	結果	一般	0/266/266	
		JC会員	66/66/66		JC会員	59/57/51	
		合計	66/285/285		合計	59/323/317	
予算	内部事業資金	¥3,135,541	外部導入資金	¥0	予算合計	¥3,135,541	
決算	内部事業資金	¥3,135,541	外部導入資金	¥0	決算合計	¥3,135,541	

2019年度事業報告	事業区分	公2	作成日	2019年 6月10日
------------	------	----	-----	-------------

会議・委員会	防災教育委員会	議長・委員長	佐々木 彰吾
事業名	公益社団法人乙訓青年会議所5月オープン例会		
実施日時	2019年 5月 8日		
実施場所	長岡市中央生涯学習センター セレモニー 6階創作室1 講演 3階メインホール		

事業目的	<p>【対外】共助の重要性を理解するとともに、災害時の冷静な判断力が防災に繋がると認識して頂くことを目的とする。</p> <p>【対内】共助の精神を備えた地域のリーダーとして、市民を導くことのできる資質を向上することを目的とする。</p>
事業の内容	<p>【委員長趣旨説明】 時間:3分</p> <p>【講演】 時間:20分 テーマ「生き抜く力」～備える防災～ 講師:桑原 英文氏 講師プロフィール</p> <p>【パネルディスカッション】 時間:40分 テーマ「生き抜く力」～備える防災～ パネリスト:桑原 英文氏・二市一町首長 コーディネーター:富田委員</p> <p>【質疑応答】 時間:10分</p> <p>【委員会まとめ】 時間:3分 担当 下戸副委員長</p>

目的達成の検証	目的に達した点	<p>①防災をテーマにしたオープン例会を開催したことにより、共助の精神を備えた地域のリーダーとして、市民を導くことのできる資質を向上することができた。</p> <p>②講師からしっかりと災害時における共助の精神をお話して頂いたことにより地域の方々に共助の精神の重要性を再認識して頂けた。</p> <p>③パネリストに二市一町の首長にお越し頂き、地域の現状や防災についての取り組みを講師とお話して頂けたことにより地域の方々に地域の状況や取り組みを理解し減災へと繋がる一助となった。</p> <p>④委員会メンバーがコーディネーターとしてパネルディスカッションに参加することで来場者から「これから青年会議所活動に期待している」と評価に繋がったことで目的である主体的な活動を来場者に認識して頂けた。</p> <p>⑤例会会場にて防災冊子「東京防災」を配ることにより地域の防災に対する意識の向上に繋がった。</p>														
	達成目的にかかった点	<p>①講師との打ち合わせ時に乙訓地域の特徴をお話して頂く依頼をしていたが伝え方、方向性の共有ができていなかったためお話しして頂けなかった。そのことにより地域の特徴や被災時の心構えを学んで頂くことができなかつた。</p> <p>②計画していた動員や委員会ラインの設置を怠ったのが原因で動員が少なく、広く市民に認識して頂くには至らなかつた。</p> <p>③各教育長、チラシ配布先の学校関係者にもお声がけをしたがこちらの意義をしっかりと伝えられなく、参加協力を得ることができなかつた。それにより目的である教育機関とのパートナーシップを築けなかつた。</p> <p>④委員会まとめで我々の事業内容を市民に伝えるはずが「冷静な判断ができることが共助に繋がる」と「地域のリーダーとして我々の目指す明るい豊かな社会の実現への活動に、共感して頂く」という目的を失念し、来場者に伝えられなかつたため我々の目指す「明るい豊かな社会」の実現への活動に、共感して頂くことができなかつた。</p>														
	今後の展望	自然災害が多発している今、防災活動を広げ、地域の住民と備えていければと考えます。														
参加動員数		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">計画</th> <th>一般</th> <th>250</th> <th rowspan="3">結果</th> <th>一般</th> <th>44</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>JC会員</td> <td>57</td> <td>JC会員</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>307</td> <td>合計</td> <td>92</td> </tr> </tbody> </table>	計画	一般	250	結果	一般	44	JC会員	57	JC会員	48	合計	307	合計	92
計画	一般	250		結果	一般		44									
	JC会員	57			JC会員		48									
	合計	307	合計		92											
予算	内部事業資金	¥241,664	外部導入資金	¥0	予算合計	¥241,664										
決算	内部事業資金	¥241,664	外部導入資金	¥0	決算合計	¥241,664										

2019年度事業報告	事業区分 その他	作成日 2019年 7月13日
会議・委員会	JAYCEE育成委員会	議長・委員長 藤田 真也
事業名	6月例会	
実施日時	2019年 6月13日(木)18:30~21:13(受付開始18:00)	
実施場所	長岡市中央公民館 市民ホール	
事業目的	青年会議所活動による自己成長と社業の両方の成長が重要であると理解することを目的とする。	
事業の内容	<p>【事前アンケート】 事前アンケートは、メンバーが「JCと社業」との関係や繋がりについての意識調査を目的として行います。</p> <p>【6月例会】 <委員長趣旨説明> ① 2月例会、6月例会、11月例会の目的と繋がりを説明する。 ② 青年会議所活動には自己成長の機会があることを伝える。 ③ 青年会議所活動での学びにより自身の器を広げると同時に、社業にも活かすことが重要であると伝える。</p> <p><講師講演> ◆第1部 講演テーマ「JCでの自己成長と社業の発展について」(60分) 講師 西岡 徹人様(三承工業株式会社 代表取締役・公益社団法人岐阜青年会議所 顧問) 講演内容 ① 生い立ちからJC入会を決められた当時の想い、入会してからどのような気持ちで活動されていらっしゃったか、影響を受けた出会いや言葉から活動が変わったことや自己成長に繋がったことを話して頂く。 ② 青年会議所活動での意識変革による自己成長を、どのように社業の発展に繋げられたのか、原体験を話して頂く。 ③ 社会課題を様々な団体と連携して解決することで得られる価値こそが、青年会議所の価値であると同時に社業の価値にも繋がることを話して頂く。 ④ SDGsとの出会いと、SDGsが社業に与えた影響を話して頂く。</p> <p>◆第2部 メンバーの「悩み、課題」意見に対する講師のアドバイス(20分) 事前アンケートで出たメンバーの悩みや課題に対して、上位4つを選定(1つの質問に対してアドバイスの時間は5分)し、事前に西岡様に質問内容を伝えておく。</p> <p><グループディスカッション> 委員会毎にテーブルを分け、グループディスカッションを行います。 講師講演や第2部で、JCと社業をどのように繋げて活動しておられたのか、講師の経験談やアドバイスをヒントに、JCと社業に関する悩みや課題をグループ内でも互いにどのように解決しているのか話し合い、社業に活かす。</p> <p><委員会まとめ> ① 青年会議所活動を社業に繋げる方法は様々あるが、青年会議所活動の学びによる自己成長が社業の発展に繋がることを伝える。 ② 青年会議所活動の学びによる自己成長と社業の発展は両輪であり、積極的に青年会議所活動を行う重要性を伝える。</p>	

目的達成の検証	目的に達した点	<p>①事前アンケートから正会員メンバーの「JCと社業」の悩みや課題を抽出し、講師の経験をもとに具体的なアドバイスをして頂くことで、今後のJC活動や社業の発展の一助となった。</p> <p>②講師の青年会議所活動での意識変革による自己成長を社業の発展に繋げられた経験を話して頂くことで、現役メンバーの一つの成功事例として参考となり、青年会議所活動を社業に繋げる一助となった。</p> <p>③講師の経験から得られた「社会課題を解決することで得られる価値」は、青年会議所の考え方を通じると同時に社業にも活かせる考え方であると理解して頂けた。</p> <p>④青年会議所活動で出会ったSDGsが社業の発展に繋がった一つの事例としてお話し頂いたことで、青年会議所が学びの場であることを理解して頂けた。</p> <p>⑤第2部において、事前アンケートで得たメンバーのJCと社業における悩みや課題について、講師の経験に基づく具体的なアドバイスを受けることで、今後のJC活動や社業の発展への参考にして頂けた。</p>					
	達成目的にかかった点	<p>①講師とSDGsとの出会いにおいて、講師がSDGsどのように出会い社業に取り入れようと思ったのかの詳細がなかったため、青年会議所活動と社業の繋がりが分かり辛く、SDGsに関して青年会議所活動を社業に繋げる一助にはならず、事業目的達成には至りませんでした。</p> <p>②第2部において、トークセッション担当者が、講師の経験談を深く聞こうとしたが、事前アンケートから抽出した質問内容から外れてしまい、事前アンケートで得た課題以外はメンバーが理解しがたい結果となり、事業目的達成には至りませんでした。</p> <p>③グループディスカッションにおいて、予定スケジュールより時間が大幅に押していたため、グループディスカッションの予定時間を半分にしたことで、各テーブルで十分な話し合いができず、メンバー間の悩みや課題の解決には至らず、事業目的達成には至りませんでした。</p> <p>④委員会まとめにおいて、「青年会議所活動の学びによる自己成長が社業の発展に繋がる」ことを伝え、青年会議所活動に積極的に参加して頂くことで、自己成長こそが社業の発展に繋がると理解して頂く予定でしたが、伝えたい内容が発表者自身の言葉ではなく、また資料をただ読み上げただけの内容となってしまい、メンバーに委員会の想いを伝えることができず、事業目的達成には至りませんでした。</p>					
	今後の展望	JC活動を通した学びや自己成長、考え方の変化を、社業に活かした事例を参考にし、自身に置き換え何をしなければならないのか明確になったと考えます。そして、結果を出すためには、行動で示すしかないことを学んで頂けたと考え、今後メンバーがさらに一步踏み込んだ意欲ある活動に繋がると考えます。					
参加動員数							
参加動員数	計画	一般	0	結果	一般	0	
		JC会員	57		JC会員	47	
		合計	57		合計	47	
予算	内部事業資金	¥124,000	外部導入資金		¥0	予算合計	¥124,000
決算	内部事業資金	¥123,489	外部導入資金		¥0	決算合計	¥123,489

2019年度事業報告	事業区分	その他	作成日	2019年 7月22日
委員会	広報戦略委員会	委員長	今井政樹	
事業名	7月例会			
実施日時	2019年7月11日(木) 18:30~21:00			
実施場所	長岡京市中央生涯学習センター3階メインホール			
事業目的	地域市民の求める情報から、乙訓青年会議所の認知度の向上に繋がる効果的な広報手法を見出すことを目的とします。			
事業の内容	<p>【趣旨説明】 発表者:今井委員長 時間:3分 ①乙訓青年会議所の行う様々な広報の手法が、乙訓青年会議所の認知度向上に必ずしも繋がっていない現状を説明するとともに、多くの共感と賛同を得ることができる、効果的な広報の必要性を説明します。 ②地域市民が求める情報から見出す広報手法こそが、広報戦略委員会の考える効果的な広報であることを説明します。 ③第一部では効果的な広報手法を創出するヒントとなるマーケティングの重要性を学び、第二部では広報戦略委員会が実施したアンケート結果を共有し、第三部では第二部でのアンケート結果を踏まえ、これから行う事業の広報戦略について各委員会で考えて頂くという事業の概要を説明します。</p> <p>【第一部】 「基調講演」 時間:20分 テーマ:「マーケティングの重要性」 マーケティングとは 講師:水野 裕氏 講師プロフィール 講師選定理由 講師打ち合わせ議事録 ①マーケティングは組織が行う活動のうち、「顧客(地域の方々)が求める活動を行い、その情報を届け、顧客(地域の方々)がその価値を効果的に得られるようにする」ことの重要性をお話して頂く。 ②顧客(地域の方々)のニーズを解明し、価値を生み出すための戦略、仕組み。プロセスについてお話して頂く。</p> <p>【第二部】 「アンケート結果発表」 アンケート結果発表イメージ 第二部から第三部への繋がり 発表テーマ:「地域が求める乙訓青年会議所」 発表者:草場委員、石井委員 時間:10分 ①認知度が充分でない団体に何を求めるかの街頭アンケート、Webアンケート、地域諸団体様へのアンケートを行い、その結果を発表する。 ②広報戦略委員会としてアンケート結果の考察を発表するとともに、今年度行ってきた広報について説明を行う。 街頭調査アンケート サンプルサイズの根拠について アンケートについて</p> <p>【第三部】 「グループワーク」 第三部グループワーク流れ 内容:「乙訓青年会議所の広報戦略」 時間:55分 ①アンケート結果に基づき各委員会に分かれて今後の乙訓青年会議所として行う事業の広報について戦略を練って頂く。 ②各委員会に広報戦略委員会にどのような広報を行って貰いたいかを発表して頂く。 ③発表内容を講師に総評して頂く。</p> <p>【委員会まとめ】 発表者:堀内幹事 時間:5分 ①乙訓青年会議所の運動を一方的に発信するだけでなく、地域から必要とされる情報発信の大切さを伝え、地域の方々が求める広報手法を見出すことが組織としての共感に繋がることに伝える。 ②委員会の発表結果と合わせて、今後の広報活動について発表する</p>			

目的達成の検証	目的に達した点	<p>①【第三部】において、アンケート結果に基づき各委員会に分かれて今後の乙訓青年会議所として行う事業の広報について戦略を練って頂いたことで、広報を自分事と捉えたうえで戦略を練ることができ、効果的な広報手法を見出す一助となった。</p> <p>②【第三部】において、各委員会に事業の広報戦略を練り、どのような広報を行って貰いたいかを発表して頂いたことで、地域の方々からの共感と賛同を得ることできる効果的な広報手法について、様々アイディアを見出せたことで広報活動の質を向上に繋がった。</p> <p>③【委員会まとめ】において、乙訓青年会議所の運動を一方的に発信するだけでなく、地域から必要とされる情報発信の大切さを伝え、地域の方々が求める広報手法を見出すことが組織としての共感に繋がることを伝えることで、乙訓青年会議所が地域から求められる組織となれることを理解して頂ける一助となつた。</p>															
	達成目的なにかつた点	<p>①【第一部】において、講師に「マーケティングの重要性」について講演をして頂ましたが、概要説明で留まったため、マーケティングについては理解して頂くことはできましたが、地域の方々のニーズを把握する重要性の認識や、ニーズから価値を生み出す戦略や仕組みの理解に至らず、効果的な広報手法を創出する効果に繋がらなかった。</p> <p>②【第二部】において、地域の方々が乙訓青年会議所に何を求めるかのアンケート結果を発表したが、データが見えづらく理解が難しかったため、地域の方々の求める情報が何なのかをメンバーで共有するまでは至らなかった。</p> <p>③【第二部】において、今年度の広報活動について説明をしたが、アンケート結果から導き出せる分析や検証がなく、今年度の広報活動の問題点や有効性を浮き彫りにすることはできず、グループワークにおける広報手法を見出す一助にはならなかった。</p> <p>④【第三部】において、講師に総評して頂いたが、講師の考える総評であり、各委員会が発表した広報手法に対しての総評でなかったため、手法に対する気づきや学びを得ることができなかつた。</p>															
今後の展望		地域の求める情報から乙訓青年会議所の認知度の向上に繋がる効果的な広報手法を見出す一助となり、地域市民に効果的な広報で乙訓青年会議所の運動や活動を発信していく、さらに多くの共感と賛同を得て地域から求められる組織になることで、今まで以上に地域を巻き込んだ大きな事業を展開することができると考え、情報発信に努めていきます。															
参加動員数	計画	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">一般</th><th style="text-align: center;">0</th><th rowspan="3" style="vertical-align: middle; text-align: center;">結果</th><th style="text-align: center;">一般</th><th style="text-align: center;">2</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">JC会員</td><td style="text-align: center;">57</td><td style="text-align: center;">JC会員</td><td style="text-align: center;">42</td></tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td><td style="text-align: center;">57</td><td style="text-align: center;">合計</td><td style="text-align: center;">44</td></tr> </tbody> </table>	一般	0	結果	一般	2	JC会員	57	JC会員	42	合計	57	合計	44		
一般	0	結果	一般	2													
JC会員	57		JC会員	42													
合計	57		合計	44													
予算	内部事業資金	¥38,000	外部導入資金	¥0	予算合計	¥38,000											
決算	内部事業資金	¥37,044	外部導入資金	¥0	決算合計	¥37,044											

2019年度事業報告	事業区分	その他	作成日	2019年 9月 6日		
委員会	防災教育委員会	委員長	佐々木 彰吾			
事業名	8月例会					
実施日時	2019年 8月 3日(土) 8:00~ 8:36					
実施場所	(会 場)天王山夢ほたる公園 (所在地)〒618-0091 大山崎町字円明寺小字一丁田18-8					
事業目的	防災教育への意識向上から、後に開催する防災をテーマとしたキャンプ事業を成功させるという気持ちを一丸とすることを目的とする。					
事業の内容	後に開催する乙訓文化少年団キャンプ事業の趣旨をメンバー全員で共有するとともに、防災教育の重要性を伝えます。 【委員長趣旨説明】3分 ①乙訓地域における災害の危険性を説明します。 ②後に開催する乙訓文化少年団キャンプ事業の成功に向け、メンバー全員に防災教育の重要性を伝えます。 【乙訓文化少年団キャンプ事業事前説明】10分 樋口幹事 ①乙訓文化少年団キャンプ事業での予定と注意事項を伝えます。 ②乙訓文化少年団キャンプ事業での防災教育における各メンバーの役割を説明します。 ③メンバーの助けが事業の成功に繋がることを伝え、メンバーが一丸となるよう意の釀成を図ります。					
目的達成の検証	目的に達した点	【事業目的に達した点】 ①委員長趣旨説明で乙訓地域の災害の危険性を説明することにより、危機管理能力を備える意識の醸成に繋がりました。 ②委員長趣旨説明でメンバーに防災の必要性を伝えたことにより、防災知識が減災に繋がると確認できたとともに、子供たちへ防災教育を行う意識の向上へと繋がりました。 ③乙訓文化少年団キャンプ事業におけるメンバーの役割を伝えたことにより、子供たちの防災教育において大人の役割が重要であることをメンバーが認識できました。				
	達成目的にかかった点	①アンケート結果にて、2割のメンバーから事業目的があまり伝わらなかったとの意見を頂きました。				
今後の展望	乙訓文化少年団のキャンプ事業でのテーマである「防災」をメンバーにしっかりと意識付けし、子ども達への教育に繋げれました。今後も大人の意識をしっかりと醸成したうえで青少年教育に携わってもらいたいと考えます。					
参加動員数	計画	一般	0	一般	0	
		JC会員	57	JC会員	42	
		合計	57	合計	42	
予算	内部事業資金	¥760	外部導入資金	¥0	予算合計	¥760
決算	内部事業資金	¥750	外部導入資金	¥0	決算合計	¥750

2019年度事業報告	事業区分 公2	作成日 2019年 9月22日
会議・委員会	40周年特別委員会	委員長 山口 雄司
事業名	9月例会・40周年記念事業・乙訓DREAMフェスタ	
実施日時	2019年 9月15日(日)8:30~16:30	
実施場所	向日町競輪場 第4駐車場	
事業目的	(対外) 乙訓地域としての新たな価値を創出することを目的とする。 (体内) 【9月例会】 後に開催する40周年記念事業に向け、主体者意識を高めメンバーが一致団結し記念事業成功に繋げることを目的とする。 【40周年記念事業】 乙訓地域に住む人とともに乙訓地域としての新たな価値を創出し、まちの活性化に関心をもつことを目的とする。 【乙訓DREAMフェスタ】 乙訓地域の地域力を向上させる意識の醸成と乙訓地城市民との信頼関係を向上させることを目的とする。	
事業の内容	【40周年記念事業・乙訓DREAMフェスタ事前説明会】 40周年記念事業・乙訓DREAMフェスタに向けた事前説明会を開催し注意事項及び準備を行って頂く。 【9月例会】 後に開催する乙訓DREAMフェスタの趣旨をメンバー全員で共有し、本事業への気構えを整えます。 【40周年記念事業・乙訓DREAMフェスタ】 ①乙訓地域として使えるロゴのデザインを乙訓地域の皆様から募集し、乙訓DREAMフェスタにて決定する。 ②乙訓地域のロゴを創ることで、二市一町の一体感が生まれ、新たな繋がりを創出する。 ■ステージ発表 ①二市一町の首長に挨拶頂きます。 ②乙訓地域で活動されている方に出演して頂きます。 ■出店ゾーン ①二市一町の農家に収穫した野菜を持ち寄って頂き、朝市を開いて頂きます。 ②二市一町の飲食店に飲食ブースを出店して頂きます。 ③スーパー・ボールすくいやヨーヨーの体験型の屋台のほか、飲食物の屋台を設置します。 ■地域諸団体・企業ゾーン ①各地域諸団体や企業のPRブースを設置して頂きます。 ②地域諸団体の中の1人で運営している方々で集まってブースを出して頂きます。 ■ふれあい・つながりゾーン ①見ず知らず同士がふれあうことのできる、「心」のつながりを創出するゾーンを設置します。 ■場内スタンプラリー ①パンフレットを兼ねた日刊スポーツ号外新聞にスタンプラリー欄を設けて、スタンプラリーをして頂きます。 ■自転車レースゾーン(わんぱく自転車レース) ①会場内にアップダウンのある自転車レースコースで自転車の体験をして頂きます。 ②会場内にアップダウンのある自転車レースコースを設置し、子供たちに競争して頂きます。 ■スポーツ体験ゾーン ①会場内にスポーツゾーンを作りスポーツ体験して頂きます。	

目的達成の検証	目的に達した点	<p><40周年記念事業・乙訓DREAMフェスタ事前説明会></p> <p>①乙訓DREAMフェスタに関わる地域諸団体にDREAMフェスタの趣旨を説明したことで、ともに乙訓DREAMフェスタを創りあげる意識の統一を図れた。</p> <p>②運営マニュアルを作成して配布することで当日のブース位置、駐車場の設置場所やタイムスケジュール等の情報共有ができた。</p> <p>③各委員長がブース設営や内容を話し合い理解して頂けたことで当日各委員会メンバーにも当日の動きを理解して頂けた。</p> <p><9月例会></p> <p>①乙訓DREAMフェスタの趣旨をメンバー全員で共有することで、本事業への気構えを整えることができた。</p> <p><乙訓DREAMフェスタ></p> <p>①乙訓まちづくり実行委員会の属されている地域諸団体にブースを運営して頂いたことで乙訓地域に住む地域の人の繋がりがさらに深まり信頼関係の構築に繋がった。</p> <p>②出店ゾーンに飲食ブースを設置することで、乙訓地域の飲食店の存在を知って頂き、まちの活性化の一助になった。</p> <p>③ステージでは乙訓地域で活動している方に登壇して頂け、出演団体の活動を皆様に知って頂き、まちの活性化の一助になった。</p> <p>④地域諸団体・企業ゾーンを設置することで、活動発信と市民との交流を通じて信頼関係を向上させる一助となった。</p> <p>⑤ふれあい・つながりゾーンにおいて見ず知らずの子供同士が遊ぶこと、またその姿を見ている親同士が話しかけることで、「心」の繋がりができ、信頼関係の構築の一助になった。</p> <p>⑥スポーツ体験ゾーンにおいて、色々な世代の人たちが集まる世代を超えたコミュニティーの場を通じて、信頼関係を構築する一助になった。</p>					
	達成しなかった点	<p>①40周年記念事業では、乙訓DREAMフェスタに参加した方にもロゴを選んで頂けて発表することができたが、二市一町の一体感や信頼関係の構築までは生むことができなかつた。</p> <p>②9月例会で、シュプレヒコールを行えなかつたことで40周年記念事業・乙訓DREAMフェスタを創り上げる意識の醸成を図るまでに至らなかつた</p> <p>③パンフレットを兼ねた日刊スポーツ号外新聞に設けたスタンプラリー欄を一つにしたため、来場者が会場全体を回ることなく、期待した効果を得ることができなかつた。</p>					
今後の展望	もっと行政、地域諸団体から出たいと思ってもらえる事業にしていくことで、市民民主導型社会に近づいていき地域に定着させるために今後も継続事業として本事業を続けていくことが望ましいと考えます。						
参加動員数	計画	一般	7,000	結果	一般	5,412	
		JC会員	58		JC会員	51	
		合計	7,058		合計	5,463	
予算	内部事業資金	¥1,000,000	外部導入資金	¥780,000	予算合計	¥1,780,000	
決算	内部事業資金	¥997,286	外部導入資金	¥780,000	決算合計	¥1,777,286	

2019年度事業報告	事業区分	その他	作成日	2019年11月14日
会議・委員会	JCネットワーク構築委員会	議長・委員長	坂元 陸	
事業名	10月例会			
実施日時	2019年10月 8日(火) 18:30~20:58			
実施場所	長岡京市中央生涯学習センター3階メインホール			
事業目的	出向先で得た成果や魅力をLOMメンバーが理解し、次年度以降の活動意欲に繋げることを目的とします。			
事業の内容	<p>第一部:出向という学び多き機会【委員長趣旨説明】</p> <p>① 我々、青年会議所メンバーはスケールメリットを活かし、出向というより広い舞台で活動できる機会が平等に与えられていることを説明します。</p> <p>② 出向で得られる出会いや経験、LOMでの活動と違う成長があることを説明します。</p> <p>③ 出向先での見えない努力や活躍があり、出向者の自己成長に繋がっていることを説明します。</p> <p>④ 出向先で自己成長を遂げたメンバーが乙訓青年会議所の活性化や発展に繋がることを説明します。</p> <p>【委員会発表】(10分)</p> <p>担当:小林委員、田村委員</p> <p>① 出向先を代表し、一番身近である公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 京都ブロック協議会、2019年度の組織や委員会、役職について説明します。委員会紹介の中で、本年度の出向者を紹介します。</p> <p>② 委員会や役職を説明し、乙訓青年会議所の委員会や役職と比較します。</p> <p>③ 委員会の担いや役職の役割、重要性を伝えます。</p> <p>④ 日本国会や近畿地区協議会に出向しているメンバーが所属する出向先の委員会についても紹介します。</p> <p>⑤ 乙訓青年会議所では委員会配属は希望できないが、出向先は自分の意志で決定できることを伝えます。</p> <p>【出向者発表】(17分)</p> <p>① 『初めて』に特化し、出向したメンバーに発表して頂く。</p> <p>② 初出向者2名に出向したことによる気付きや、自身の変化を話して頂く。</p> <p>③ 初近畿地区協議会に出向したメンバー1人に出向したことによる気付きや、自身の変化を話して頂く。</p> <p>④ 初日本本会に出向したメンバー1人に出向したことによる気付きや、自身の変化を話して頂く。</p> <p>⑤ 初役職付き出向者に、委員出向時との違いや気持ちの変化を話して頂く。</p> <p>⑥ 発表時、発表者の出向委員会での事業風景などの写真をスクリーンに投影します。</p> <p>⑦ 各発表終了後、発表者の出向先委員長からのビデオレターを流す。</p> <p>【委員長からのビデオレター】(25分)</p> <p>① 出向先の各委員長から出向メンバーに向けてメッセージ動画を流す。</p> <p>② 出向者との初顔合わせ時と撮影時点での感じられた変化についてお話を頂きます。</p> <p>③ 動画は各発表終了後、発表者の出向先委員長からのビデオレターを流す。</p> <p>④ 発表者がいない出向先委員長からのビデオレターは日本本会、近畿地区協議会、京都ブロック協議会の順で流す。</p> <p>第二部:出向の魅力と自己成長</p> <p>講師:張本昌義様</p> <p>【講師講演】(35分)</p> <p>① 近畿地区協議会、京都ブロック協議会の両方で会長を務められた張本昌義様をお招きして、出向で期待できる成果についてご講演頂きます。</p> <p>② 委員・スタッフ・役員とステップアップすることで得られた自己成長の実体験をご講演頂きます。</p> <p>③ 自己成長には何が重要であるかを知り、意欲的な活動に繋がるご講演を頂きます。</p> <p>【委員会まとめ】(5分)</p> <p>① LOMの事業と各出向先の事業の関係性、出向する立場の違いによる役割や重要性を伝えます。</p> <p>② 出向特有の楽しさや出向することによりLOMの垣根を越えた繋がりや友情が構築できることを伝えます。</p> <p>③ 出向することでどのような経験を積み、自己成長に繋がるかを伝えます。</p> <p>④ スタッフ出向、役員出向とステップアップし、出向する立場の違いを経験することで、スキルを向上させ、仕事やJC活動等様々な分野において成長に繋がることを伝えます。</p> <p>【エンディング映像】(3分)</p> <p>① 出向者の去年の姿から今年の姿を流し、次年度以降の活動意欲に繋がる映像を流します。</p>			

目的達成の検証	目的に達した点	<p>【事業目的に達した点】</p> <p>①【委員会発表】において、京都ブロック協議会の委員会活動や役職を乙訓青年会議所と比較説明したことで、出向先の委員会でどのような事業を行い、成長に期待できるかと役職の重要性を理解する一助となりました。</p> <p>②【出向者発表】において、初出向者・スタッフ出向者が自身の変化や気付きを発表して頂くことで、自身の成長を見つめ直し、発表を聞いたメンバーにも活躍や成長した姿を周知することができました。</p> <p>③【委員長からのビデオレター】において、出向先の委員長から出向メンバーにメッセージを頂くことで、一年間のフィードバックや普段は聞けない自身の成長に気付き、今後の活動意欲の向上に繋がりました。</p> <p>④【講師講演】において、活動における心構えや本質をご講演頂いたことで、自分自身が変われるチャンスや得られる成長を実感でき、今後の活動意欲の向上に繋がりました。</p> <p>⑤【委員会まとめ】において、組織を深く理解し、役職や役割の重要性を伝え、自身の心構えやしっかりと目的をもって出向することが自己成長に繋がり、今後の活動意欲の向上の一助となりました。</p> <p>⑥【エンディング映像】において、2018年度と2019年度の顔つきや姿勢が変わったメンバーを見ることで、出向先での目に見えない成果を実感し、今後の活動意欲の向上の一助となりました。</p> <p>⑦【アンケート結果】から、委員会発表での出向先委員会や役職についての理解が93.1%、出向者の変化や成長を感じたが86.2%あり、次年度出向したいという回答も87.8%であったことから、今後の活動意欲の向上の一助となりました。</p>				
	か達目 つし的 たなに 点	<p>【事業目的に達しなかった点】</p> <p>①アンケート結果から、12.2%が出向したくないと回答があり出向という部分での活動意欲の向上に繋げることができなかった。</p>				
今後の展望	出向先で得た経験や知識が乙訓青年会議所メンバーの資質向上に繋がり、乙訓青年会議所のまちづくり事業や青少年事業などの運動を行い、さらに地域の人びとの共感を得て、今まで以上に質の高い大きな事業を展開できると考え出向活動に努めていきます。					
参加動員数	計画	一般 JC会員 合 計	0 58 58	結果	一般 JC会員 合 計	5 40 45
予算	内部事業資金	¥32,000	外部導入資金	¥0	予算合計	¥32,000
決算	内部事業資金	¥31,991	外部導入資金	¥0	決算合計	¥31,991

2019年度事業報告	事業区分	その他	作成日	2019年12月 1日
会議・委員会	JAYCEE育成委員会	議長・委員長	藤田 真也	
事業名	11月例会			
実施日時	2019年11月14日(木)18:30~21:11(登録開始 18:00)			
実施場所	長岡市立中央公民館3階 市民ホール			
事業目的	新たな価値を創造できる発想をもった人財となることを目的とする。			
事業の内容	<p>■【委員長趣旨説明】</p> <p>①開催目的とともに、地域のリーダーとしての資質を上げることが青年会議所運動の質が上がり、それが成果に繋がることで成果の実感ができる。その経験が活動意欲に繋がるという一連のサイクルを伝え、メンバーのリーダーとしての質を向上させる必要があることを伝える。</p> <p>■第1部 【講師講演】</p> <p>講演テーマ「人の繋がりから生まれる新たな発想とは」</p> <p>講師 山崎 亮氏(studioーL代表)</p> <p>①地域のリーダーとして、地域とどのような関係性をもつ必要があるのかお伝え頂きます。</p> <p>②発想を生み出すことや一人ひとりの発想力を活かすためには、地域のリーダーに「人を結び付ける力」が求められていることをお伝え頂きます。</p> <p>③コミュニティデザインに辿り着いた経験を話して頂くとともに、コミュニティデザインで生まれた発想から、新たな価値となった事例を紹介して頂きます。</p> <p>④人を結び付けることで得られる新たな発想やそこから生まれる価値の重要性をお伝えして頂きます。</p>			
	<p>■第2部 【グループワーク】～地域課題の解決から新たな価値を創造する～</p> <p>①グループワークの進行説明をJAYCEE育成委員会メンバーより致します。</p> <p>②グループワークを円滑に進行させるための補助役をJAYCEE育成委員会メンバーが担当致します。各委員会で乙訓地域の課題に対して発想力を持って1つの解決策を導き出して頂きます。</p> <p>③委員会ごとに導き出した解決策を発表して頂きます。</p> <p>④山崎 亮氏より各委員会発表の総評をして頂きます。</p> <p>■【委員会まとめ】</p> <p>①地域諸団体や若者、行政、企業など、様々な地域市民の連携を目指し、集まりの中で生まれる発想こそが地域活性と課題解決には重要であるということを伝える。</p> <p>②青年会議所のネットワークを活用できる我々JAYCEEこそが、率先して「人を結び付けること」が必要であり、その連携によって得られる新たな発想が新たな価値の創造に繋がることを伝える。</p> <p>③2月例会、6月例会、11月例会の目的、繋がりを説明し、1年間の活動報告と得られた効果を説明する。</p>			

目的達成の検証	目的に達した点	<p>①第1部において、地域のリーダーとして、地域とどのような関係性をもつ必要があるのかお伝え頂きことで、地域の人々からの意見が課題に直結することを理解して頂き、地域のリーダーとして「人を結び付ける」ことの重要性を理解して頂けた。</p> <p>②第1部において、人を結び付けることで得られる新たな発想が重要であることをお伝え頂き、集まりの中で生まれる発想こそが地域活性と課題解決には重要であるということを理解して頂けた。</p> <p>③第1部において、地域課題は地域の方々の声に耳を傾けることで得られるという講師の経験を話して頂くことで、地域課題に取り組む青年会議所メンバーが地域のリーダーとして活動する幅が広がる一助となった。</p> <p>④第2部において、自由な発想をもって意見を出し合うことで、新たな価値の創造に繋がると理解して頂けた。</p>												
	達成目的にかかった点	<p>①第1部において、コミュニティデザインに辿り着いた経験を話して頂くとともに、コミュニティデザインで生まれた発想から、新たな価値となった事例を紹介して頂く予定でしたが、講師が行ってきた内容だけになり、新たな価値となった参考例にはならなかった。</p> <p>②委員会まとめでは、2月例会、6月例会、11月例会の目的、繋がりを説明し、1年間の活動報告と得られた効果を説明したが、特に11月例会の内容が薄く、地域市民を巻き込むことこそが、これから地域活性の重要な第一歩であるということを理解して頂けなかった。</p>												
今後の展望	地域課題に取り組み、新たな価値を発想するために、まずは地域の方々と何でも話し合える信頼関係の構築が重要であると認識して頂けたと考えております。次のステップとして、互いに信頼がある中で、地域課題を解決するために、なんでも意見を言い合い、自分たちができる解決方法を模索するためにグループワークを行いましたが、時間の関係から互いの強みを活かした解決策まで導くことができませんでした。しかし、このグループワークは一例であり、今後の活動において、様々な形で地域の方々と関係性をもって頂き、課題解決に向けた活動がさらに深まると考えます。													
参加動員数	計画	<table> <tr> <td>一般</td><td>0</td> <td>一般</td><td>0</td> </tr> <tr> <td>JC会員</td><td>58</td> <td>JC会員</td><td>39</td> </tr> <tr> <td>合計</td><td>58</td> <td>合計</td><td>39</td> </tr> </table>	一般	0	一般	0	JC会員	58	JC会員	39	合計	58	合計	39
一般	0	一般	0											
JC会員	58	JC会員	39											
合計	58	合計	39											
予算	内部事業資金	¥80,000 外部導入資金 ¥0 予算合計 ¥80,000												
決算	内部事業資金	¥79,265 外部導入資金 ¥0 決算合計 ¥79,265												

2019年度事業報告	事業区分 その他	作成日	2019年12月13日
会議・委員会	総務財政委員会	議長・委員長	大塚 健介
事業名	12月例会		
実施日時	2019年12月12日(木) 13:00~15:28		
実施場所	ハイアットリージェンシー京都 ボールルームⅡ		
事業目的	本年度、展開してきた運動における成果の実感が次年度への活動意欲の醸成に繋がるとともに、今後のLOMの発展の一助となることを目的とします。		
	<p>【褒賞授与式(前半)】 時間:21分 内容:本年度、顕著な活躍をされたメンバーを称えて表彰する。式次第の順番で各賞の受賞者を発表する。実質100%出席賞は司会から発表する。乙訓JCグランドスラム賞、特別功労賞、委員会特別賞は小西専務理事に発表して頂く。(乙訓JCグランドスラム賞の該当者がいない場合は司会から該当者なしの発表を行う。)褒賞授与式(前半)の終了後、理事長には壇上に残って頂き、【2019乙訓川柳発表】の進行に移る。</p> <p>式次第</p> <ul style="list-style-type: none"> ①オープニング映像(1分) ②褒賞説明(1分) ③理事長登壇(1分) ④実質100%出席賞発表(6分) ⑤乙訓JCグランドスラム賞発表(4分) ⑥特別功労賞発表(4分) ⑦委員会特別賞発表(4分) <p>【2019乙訓川柳発表】 時間:8分 内容:正会員を対象に今年一年の乙訓青年会議所での活動の振り返りを「川柳」にて表現して頂き、正会員全員で選出した作品を、「最優秀賞」「理事長賞」「正副賞」として表彰する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①司会より趣旨説明(1分) ②2019乙訓川柳最優秀賞・理事長賞・正副賞の発表(3分) ③受賞者同時登壇(1分) ④プレゼンターより景品、賞状授与、記念撮影、降壇(3分) 		

【褒賞授与式(後半)】

時間:17分

内容:本年度、顕著な活躍をされたメンバーを称えて表彰する。式次第の順番で各賞の受賞者を発表する。出向者特別賞は昨年度の受賞者が特別会員となるため、小西専務理事に発表して頂く。出向者特別賞は活動写真を映像で紹介し、その後、出向者特別賞の発表を行う。最優秀新人賞、優秀会員賞、最優秀会員賞は昨年の受賞者に発表して頂く。(発表者が当日欠席の場合は小西専務理事に代行して頂く。)最優秀会員賞の発表後、受賞者の降壇後に理事長にも降壇して頂く。

式次第

事業の内容

- ①出向者特別賞発表(出向者映像1分、出向者特別賞発表4分)
- ②最優秀新人賞発表(4分)
- ③優秀会員賞発表(4分)
- ④最優秀会員賞発表(4分)

【委員長総括】

時間:33分 内容:委員会ごとに一年間の活動をまとめた映像をスクリーンに映し、映像が映し出されている間に速やかに委員会メンバーに左から登壇して頂く。委員長より一年間の活動の中で最も思い出深い出来事を含め、委員会メンバーに対する労いの言葉をかけて頂く。総括終了後、委員会メンバーは次の委員会の映像がスクリーンに映し出されている間に右から降壇して頂く。この一連の流れを各委員会が順に行う。総務財政委員会の登壇時の司会は小西専務理事にご協力をお願いし、総務財政委員会は降壇後、再度司会に戻り、理事長総括の進行に移る。

- ①各委員会映像(映像20秒×6委員会)
- ②委員長からの言葉(5分×6委員会、総務財政委員会降壇1分)

【理事長総括】

時間:11分

三浦理事長に登壇頂き、本年度の活動全体を振り返って頂き、乙訓青年会議所の活動成果を総括して頂く。理事長バッジ・直前理事長バッジ交換並びにプレジデンシャルリース伝達式の進行に移る。

- ①理事長登壇(1分)、理事長より全体総括(9分)
- ②三浦理事長は残って頂き、崔直前理事長、達城理事長予定者登壇(1分)

【理事長バッジ・直前理事長バッジ交換並びにプレジデンシャルリース伝達式】

時間:5分

内容:三浦理事長より達城理事長予定者へ理事長バッジを伝達頂き、次いで崔直前理事長より三浦理事長へ直前理事長バッジを伝達頂く。次にプレジデンシャルリースを2019年度正副メンバー、2020年度正副予定者メンバーを介して三浦理事長から達城理事長予定者へと伝達して頂く。

【理事長予定者挨拶】

時間:5分

内容:達城理事長予定者より次年度への意気込みと抱負を話して頂く。

【エンディング映像】

時間:2分

内容:2019年度のスローガンから始まり、メンバーの写真を映像で流し、2020年度理事長予定者の写真を映す。

目的達成の検証	目的に達した点	<p>①【褒賞授与式】において、本年度の活動において顕著な活躍をしたメンバーを称え表彰し、受賞の喜びを語って頂くことで、受賞したメンバーだけでなく他メンバーにおいてもさらなる青年会議所活動を行う励みとなった。</p> <p>②【2019乙訓川柳】において、今年一年の乙訓青年会議所での活動の振り返りを表現した川柳を正会員から募集し表彰することで、次年度への活動意欲の向上や目標設定に繋げて頂く一助となった。</p> <p>③【委員長総括】において、委員会メンバーの映像を流した後、委員長から一年間の委員会の活動を総括して頂くことで、各委員会の活動を振り返り、委員会メンバーの成長を再確認して頂けたとともに、委員会メンバーの活動意欲の向上へと繋げて頂く一助となった。</p> <p>④【理事長総括】において、理事長より本年度の総括をして頂くことで、メンバーが一年間の乙訓青年会議所活動を振り返ることができ、次年度への活動意欲の向上へと繋げて頂く一助となった。</p> <p>⑤【理事長バッジ・直前理事長バッジ交換並びにプレジデンシャルリース伝達式】において、次年度への引継ぎを感じて頂くとともに、理事長予定者より次年度の抱負や意気込みをお話し頂くことで、メンバーが理事長予定者の掲げるスローガン及び運動の方向性を共有し、次年度への活動意欲の向上に繋げて頂く一助となった。</p>						
	達成目的にかなつた点	無						
今後の展望		今後も一年間の活動を総括し、次年度へと繋げる例会を開催する必要がある。						
参加動員数		計画	一般	4	結果	一般	1	
			JC会員	59		JC会員	48	
			合 計	63		合 計	49	
予算	内部事業資金	¥158,000	外部導入資金	¥0	予算合計	¥158,000		
決算	内部事業資金	¥146,580	外部導入資金	¥0	決算合計	¥146,580		

2019年度事業報告	事業区分	その他	作成日	2019年 2月11日
------------	------	-----	-----	-------------

会議・委員会	総務財政委員会	議長・委員長	大塚 健介
事業名	役員セミナー		
実施日時	2018年10月27日(土)12:00~16:18(登録開始 11:30)		
実施場所	(会 場)向日市商工会 3階 会議室 (所在地)京都府向日市寺戸町寺田64番地 向日市商工観光振興センター内 (TEL)075-921-2732		

事業目的	理事長所信やスローガンをもとに2019年度の方向性についての考えを一つにするとともに、青年会議所としての組織運営を理解した上で2019年度の活動に臨んで頂くことを目的とする。		
事業の内容	<p>【第1部】理事長講演 概 要: 理事長所信とスローガンに基づき2019年度の活動方針と方向性、役員の心構えについてのご講演。 テーマ:「新」に挑む ~志を胸に新たな価値を創造しよう~ 「2019年度公益社団法人乙訓青年会議所 方向性の共有」 講 師:三浦 靖 理事長 時 間:37分</p> <p>【第2部】JCI-Admin(JCIセミナープログラム JCI公式コース) 概 要: 新しくLOMの理事構成メンバーやリーダーを目指す方のためのLOMマネジメントコース。LOMの理事会の構成、様々な問題の解決法、会議の進行、LOMの計画作りについて理解できるとともに、JCIミッションを達成するために必要なバランスの取れたプログラム。 日本JC公認トレーナー:三井 陽一郎トレーナー 時 間:180分</p>		
目的達成の検証	<p>①第1部にて理事長から理事長所信とスローガンをもとに2019年度の活動方針と方向性、役員の心構えについてお話し頂いたことで、役員が2019年度の活動に向けて明確な方向性、責任感をもつことができた。</p> <p>②理事長所信を熟読した上で、役員セミナーを受講して頂いたことで、役員としての自覚が芽生え、また各々の2019年度の活動に対する方向性を明確にすることことができた。</p> <p>③第2部では、JCI公式コースの一つであるJCI-Adminにて青年会議所の組織運営について学んで頂いたことで、役員が青年会議所としての組織運営を理解し、目的と目標をもって2019年度の活動に臨むことができた。</p>		
目的達成の検証	達成された点	第2部では、委員会毎にディスカッションや発表を行って頂いたことで、委員会内で各々の考えを共有でき、一丸となった行動に繋げる一助とはなったが、事前に受講したJCI-Adminのトレーナーとはディスカッションの進め方が多少異なっていたため当初目的としていた全メンバーが一丸となる行動に繋げられるかと感じるには至らなかった。	

今後の展望	本事業は、役員全員が理事長所信・スローガンに基づいた当該年度の乙訓青年会議所の方向性と、役員としての役割と責任を理解し、意識統一を図ることを目的とし継続して開催されている。目的の主旨を十分に理解し、その中で各年度の状況に合わせた最適な事業内容を構築する必要がある。					
参加動員数	計画	一般	0	結果	一般	0
		JC会員	31		JC会員	27
		合 計	31		合 計	27
予算	内部事業資金	¥21,000	外部導入資金	¥0	予算合計	¥21,000
決算	内部事業資金	¥20,448	外部導入資金	¥0	決算合計	¥20,448

2019年度事業報告	事業区分	公1	作成日	2019年 6月10日
------------	------	----	-----	-------------

会議・委員会	防災教育委員会	委員長	佐々木 彰吾
事業名	乙訓文化少年団団員募集		
実施日時	2019年 2月 1日より 4月30日まで		
実施場所	乙訓地域各所		

事業目的	乙訓文化少年団事業の活動内容を周知するとともに、団員の確保を目的とする。					
事業の内容	年9回の乙訓文化少年団事業に参加する団員の募集 ①二市一町の施設にチラシを設置し、団員を募集する。 ②地域諸団体のイベントでPRし、団員を募集する。					
目的達成の検証	目的に達した点	①本年度の募集チラシに「乙訓地域も自然災害と向かい合わなければならぬ」と防災がテーマだと記載したこと、昨年度と比べ乙訓地域以外からの子供の割合が前年度29%本年度14%と地域の防災に関心がある子供たちが集ったことで地域防災にとって良い結果となりました。 ②40名募集のところ結果47名(新規18名)という結果となったことにより団員確保の目的を達成しました。 ③地域諸団体の皆様やイベントでチラシを配布し乙訓文化少年団の認知度が高まったことにより、地域の防災イベントをされている方々との繋がりが構築されました。				
	点達成にかかった	①募集するためだけではなく認知度を高める目的もあるチラシ配布計画の幼稚園、小学校へ配布をする意味合いを理解できていなかったため、幼稚園、小学校への認知度を高めることができませんでした。 ②対内目的である乙訓青年会議所の価値を高めるためのホームページやSNSでの発信の意味合いを理解していなかったため、目的達成に繋がらず価値を高めることができませんでした。				
今後の展望	本年度は、継続参加のお子様とその兄弟の新規参加及びお友達の紹介で当初予定していた40名を超える結果となりました。年当初に継続参加のお子様の親御様へ連絡をしておけば募集活動をすることなく定員を確保することができたので、次年度からは継続ハガキをもとに電話連絡をし、兄弟や友達の参加が有無を、確認し定員に至らない場合、募集を行った方が効率的だと感じました。またチラシを見た保護者から年間の活動詳細を質問される親御様が多く、今後募集チラシに記載できるように年間予定を記載すれば活動の認知度が上がると感じました。					
参加動員数	計画	一般	40	結果	一般	47
		JC会員			JC会員	
		合 計	40		合 計	47
予算	内部事業資金	¥2,900	外部導入資金	¥0	予算合計	¥2,900
決算	内部事業資金	¥2,870	外部導入資金	¥0	決算合計	¥2,870

2019年度事業報告	事業区分	その他	作成日	2019年12月21日
------------	------	-----	-----	-------------

会議・委員会	JAYCEE育成委員会	議長・委員長	藤田 真也
事業名	FTセミナー		
実施日時	2019年12月 7日(土)1日目 18:30開始 翌7:20終了(登録開始 18:00) 2019年12月 8日(日)2日目 8:00開始 12:43終了(登録開始 7:30)		
実施場所	株式会社LIV SUBACO グラウンド 長岡天満宮		

事業目的	青年会議所の基礎を理解した上で、活動する価値を認識するとともに、活動意欲の向上に繋げることを目的とする。
事業の内容	<p>【事前説明会】<<2019年11月 1日(金)実施>></p> <p>①FTセミナーの趣旨説明を行います。 ②チーム分けの発表を行います。 ③FTセミナーの内容、当日スケジュール、注意事項の説明を行います。 ④JCIクリード、JCIミッション、JCIビジョン、JC宣言文並びに綱領の暗唱テストの説明を行います。 ⑤課題内容の説明を行います。 ⑥チームスタッフの選定、FTセミナー当日までのスケジューリングを行って頂きます。 ⑦質疑応答 ⑧各委員長から委員会所属のFTメンバーへ、これまでの頑張りとFTセミナーを受講するにあたってエールを送って頂きます。</p> <p>【FTセミナー当日までの模擬例会計画書作成作業】</p> <p>①事前説明会後から事業当日までの間に、各チームでFTセミナーの課題である模擬例会計画書を作成して頂きます。 ②各チームにはJAYCEE育成委員会担当者がアドバイス役となり、模擬例会計画書作成のサポートを行います。 ③模擬例会計画書を中間提出して頂き、理事会模擬上程をして頂きます。</p> <p>【FTセミナー1日目】<<2019年12月 7日(土)実施>></p> <p>①乙訓JCFTプログラムを受講して頂きます。 ②理事会模擬上程をして頂きます。 ③暗記テスト ④LOMナイトは現地にてケータリングで開催します。 ⑤意見対応 ⑥意見対応終了後、暗記テスト不合格者は再度暗記テストを行います。</p> <p>【FTセミナー2日目】<<2019年12月 8日(日)実施>></p> <p>①模擬例会シミュレーションを行います。 ②9時30分より開催される乙訓文化少年団の団長挨拶、リーダー挨拶終了後、Aチームから順に模擬例会を行います。 ③FTメンバーは模擬例会終了後、乙訓文化少年団12月事業に参加して頂きます。 ④乙訓文化少年団12月事業終了後、FTメンバーにFTセミナーを振り返って感想を述べて頂きます。 ⑤委員会まとめを行います。 ⑥正副・理事メンバーに、模擬理事会での意見に対応した事業となっていたかアンケートを取り、模擬例会事業報告書・決算書に反映します。アンケートは事業終了後LINEにてデータ送信します。</p> <p>【FTセミナー終了後の模擬例会事業報告・決算書作成作業】</p> <p>①FTメンバーには事業を振り返って、反省点やアンケートをもとに模擬例会事業報告・決算書を作成して頂きます。 ②理事メンバーの皆様からコメントを付けて頂きます。 ③最終提出された模擬例会事業報告・決算書は正副・理事メンバーのみ配信します。</p>

目的達成の検証	目的に達した点	<p>＜事前説明会＞</p> <p>①事前説明会を行うことで、FTメンバーがFTセミナーの趣旨を理解し、課題である模擬例会計画書への取り組みに対して計画性をもって取り組んで頂けた。</p> <p>②事前説明会において、FTメンバー所属委員会の委員長からFTメンバーの日頃の頑張りと激励をして頂くことで、委員会を挙げて応援してくれていることを感じて頂き、参加意欲の向上に繋がった。</p> <p>＜模擬例会計画書作成＞</p> <p>①模擬例会計画書を作成する上でチームスタッフを選定することで、リーダーが責任感もって議案に取り組む姿勢やサブリーダーがメンバーを巻き込む様子など、委員会として各々が役割ある活動を体験し、活動への意識向上に繋がった。</p> <p>②模擬例会事業計画書に取り組むことで、青年会議所活動の基本である事業計画書への理解を深め、背景・目的・手法を通じた問題解決への考え方を学んで頂き、活動意欲の向上に繋がった。</p> <p>③模擬例会事業計画書に取り組むために数多く集まる中で、共通の目的のために行動することで、苦楽をともにしたFTメンバー同士の絆の構築に繋がった。</p> <p>＜FTセミナー＞</p> <p>①乙訓JCFTプログラムを受講し、青年会議所の基礎知識や目的、目指すべき方向性を知ることで、自分たちが地域へより良い変化をもたらし、明るい豊かな社会の実現に向けた活動が重要であると理解して頂き、活動意欲の向上に繋がった。</p> <p>②模擬理事会を開催することで、青年会議所活動の決定機関である会議に参加したFTメンバーが事業実施までの流れを体験するとともに、青年会議所活動への理解が深まった。</p> <p>③模擬理事会において、FTメンバーが作成した模擬例会計画書に対して理事メンバーから様々な意見を頂き、より現実的または効果的な事業を作り上げていく工程を体験することで、FTメンバーの青年会議所活動への理解が深まった。</p> <p>④LOMナイトを開催することで、FTメンバーの労を労うとともに、理事会で頂いた意見に対してオブザーブメンバーからアドバイスを頂き、この後の意見対応において意欲をもって参加して頂けた。</p> <p>⑤意見対応において、FTメンバーが役割を分担し、頂いた意見に対して向き合うことで、事業計画内容をさらに高めることができ、FTメンバーの成長に繋がった。</p> <p>⑥FTメンバーが考案した模擬例会を自分たちで設えことで、それぞれの扱いに対して主体的に行動し、今後の乙訓青年会議所の活動への意欲向上に繋がった。</p> <p>⑦FTメンバーに3分間スピーチをして頂いたことで、FTセミナーで感じたことや想いを全体で共有でき、FTメンバー同士の絆の構築に繋がった。</p> <p>⑧事業を振り返り模擬例会事業報告・決算書を作成し次に活かす術を学んだことで、今後の青年会議所活動において向上心をもって取り組んで頂く一助となった。</p>					
	達成目的にかかつた点	<p>＜FTセミナー＞</p> <p>①JCIクリード、JCIミッション、JCIビジョンを和訳文章と併せて説明するにとどまり、意味合いを乙訓JCFTプログラムにて説明を行ったことで、ただ暗記するだけになってしまい、FTセミナー当日の暗記テストにおいて合格者を出すことができず、セレモニーを行う基礎を作るには至らなかつた。</p> <p>②課題の作業になかなか参加できず、楽しさや苦労をともに分かち合うことが難しいメンバーがあり、FTメンバー全員の活動意欲の向上に繋がらなかつた。</p> <p>③委員会まとめでは、青年会議所の基礎を学び、事業計画から実施、絆の構築を伝える予定であったが、内容を失念したことで、全ての内容が伝えられずに終わり、委員会まとめにならなかつた。</p>					
今後の展望	青年会議所に入会したメンバーが活動の方向性を知り、今後の活動の意義を見出すためにも、次年度以降も継続して新人研修を行う必要がある。						
参加動員数	計画	一般 JC会員 合計	0 61 61	結果	一般 JC会員 合計	0 32 32	
予算	内部事業資金	¥2,300	外部導入資金		¥0	予算合計	¥2,300
決算	内部事業資金	¥2,231	外部導入資金		¥0	決算合計	¥2,231

2019年度事業報告	事業区分	公1	作成日	2019年12月 8日
-------------------	------	----	-----	-------------

会議・委員会	防災教育委員会	委員長	佐々木 彰吾
事業名	乙訓文化少年団		
実施日時	4月 7日(日) 9:30~12:00 5月 12日(日) 9:30~12:00 6月 2日(日) 9:30~12:00 7月 15日(月・祝) 9:30~12:00 8月 3日 4日(土・日) 9:00(4日)~12:00(5日) 9月 1日(日) 9:30~12:00 10月 6日(日) 9:30~12:00 11月 3日(日) 9:30~12:00 12月 8日(日) 9:30~12:00		
実施場所	京都市市民防災センター 大山崎中央公民館 長岡京市立産業文化会館 自衛隊桂駐屯地 青葉山ろく公園 長岡京市中央生涯学習センター 6階創作室 乙訓消防組合 消防本部 辻農園 長岡天満宮		

事業目的	子供たちが乙訓文化少年団での新たな仲間との出会いや様々な体験での気づきや学びを通して、「生き抜く力」を育むことを目的とする。
事業の内容	4月 7日(日) 防災体験・初団式 5月 12日(日) 防災料理体験教室 6月 2日(日) 防災グッズ工作教室 7月 15日(月・祝) 防災講演・防災グッズ教室 8月 3日 4日(土日)防災キャンプ 9月 1日(日) 地域交流 10月 6日(日) 救急救命 11月 3日(日) 芋ほり・炊き出し 12月 8日(日) 餅つき・解団式

目的達成の検証	目的に達した点	<ul style="list-style-type: none"> ・防災体験を通じて、子供たちが災害の危険性を学び、体験することにより防災意識の醸成へと繋がった。 ・災害時には状況により、水道、ガス、電気が使えないことを想定し防災食を作り、学ぶことで、普段の環境、食料への感謝を感じて頂き、災害時に役立つ生きた知識を育む一助となった。 ・災害時に身近なものでランタンを作ることにより、災害時、手元にある物で問題解決へと導ける柔軟な心構えを育むことができた。 ・講師による災害講座にて、災害時に必要な持ち物について学んだことで、子供だけで非難をする場面でも、何が必要か判断する知識を育めた。 ・自衛隊基地で実際に災害支援の活動をされた隊員の体験談を聞き、被災地の過酷さを知ることができた。また、身近な布や手ぬぐいを使った止血の方法を覚えたことで、緊急時の対応方法を学べた。そして、後のキャンプでは共同生活を行い、団体行動を学び、思いやりや譲り合いの精神を育むことができた。 ・自分たちが住んでいる地域で災害時の避難経路を、地図を用いて普段使っている道を考え直す機会となった。また、避難所での何もない状況で楽しめる遊び方を講師から学び、自分だけでなく周囲の人の心もケアできる手法を学び、子供たちの「生き抜く力」を育む一助となった。 ・消防局において、動画や説明を実際に聞き、人工呼吸やAEDの設置場所を知ることで、有事の際取るべき行動を学び、冷静な判断力の一助となった。 ・地域の農園で自ら掘った芋をその場で調理し、避難所を想定した炊き出しを行することで、子供たちが災害時の心構えを育む一助となった。 ・炊き出しに並ぶことで、災害時でも規律を守ることの大切さを学び、自分より弱者がいた場合にはどうすればよいかを考える機会となった。後に持ち帰り用のパック詰めでは、均等に分けて詰める作業を通して、皆で物資を分け合 													
	達成目的に達しなかった点	無													
今後の展望		地域未来を担う子供たちの育成事業は、我々が行う事業の中でもっとも重要な位置づけにあると考えられる。本年度の新しい取り組みである「防災教育」は今後、必要になる知識であるため、地域諸団体と協働しての事業開催や関連性を持つことで、子ども達が安心して暮らせる防災意識の高かい地域になると考えられる。													
参加動員数	計画	<table border="1"> <tr> <td>一般</td><td>360</td><td rowspan="3">結果</td><td>一般</td><td>342</td></tr> <tr> <td>JC会員</td><td>288</td><td>JC会員</td><td>246</td></tr> <tr> <td>合計</td><td>648</td><td>合計</td><td>588</td></tr> </table>	一般	360	結果	一般	342	JC会員	288	JC会員	246	合計	648	合計	588
一般	360	結果	一般	342											
JC会員	288		JC会員	246											
合計	648		合計	588											
予算	内部事業資金	¥450,000	外部導入資金	¥460,000	予算合計	¥910,000									
決算	内部事業資金	¥450,000	外部導入資金	¥460,000	決算合計	¥910,000									

2019年度事業報告	事業区分 その他	作成日	2019年12月13日
委員会	JCネットワーク構築委員会	委員長	坂元 陸
事業名	12月卒業式・忘年会		
実施日時	2019年12月12日 卒業式15:55～19:00 忘年会19:30～21:31		
実施場所	ハイアットリージェンシー京都 1階 ボールルーム		
事業目的	<p>【卒業式】 卒業生が感動的で達成感に満ち溢れたフィナーレを迎えることで青年会議所活動に対する意識を継承することを目的とする。</p> <p>【忘年会】 参加者全員の絆がより強固なものとなることを目的とする。</p>		
事業の内容	<p>【卒業式】(190分) 受付にて卒業式パンフレットを配布</p> <ul style="list-style-type: none"> ①開会宣言(1分) ②オープニング映像(5分) ③卒業生登壇・紹介(1分) ・読み上げられた卒業生が登壇する。 ・会場後方中央よりレッドカーペットを通り入場し登壇する。 ・登壇後、一礼し所定の位置に移動する。 ・入場時、卒業生自身が選曲した入場曲を流す。 ・入場時、卒業生紹介映像を投影する。 ④卒業スピーチ(7分) ・舞台中央にて卒業生にスピーチをして頂く。 ・スピーチを終えた卒業生は壇上の所定の位置で待機する。 ⑤花束贈呈(2分) ・壇上の卒業生に花束を贈呈する。 ・贈呈者1名に登壇して頂く。 ・贈呈者が卒業生に一言お祝いの言葉を述べ、花束を贈呈する。 ・花束贈呈後、贈呈者と卒業生が写真撮影を行う。 ・写真撮影後、卒業生と贈呈者は降壇し着席する。 ・贈呈者は、各卒業生に縁のある方から選定する。 <p>※③→④→⑤の流れを卒業生14名繰り返す。(150分)【1人 10分×14名 休憩10分】尚、7名終了時10分間の休憩を取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑥卒業生全員登壇(3分) ・卒業生全員に登壇して頂く。 ・登壇後、一礼し所定の椅子に着席する。 ⑦卒業証書授与・記念品贈呈(2分) 卒業記念品 卒業証書授与・記念品贈呈配置図・岩本副理事長が登壇後、卒業生代表者が所定の位置に移動する。 ・卒業生代表者が卒業証書、記念品を岩本副理事長から受け取る。 ⑧卒業記念品寄贈(2分) ・卒業生から、乙訓青年会議所に対して記念品を寄贈して頂く。 ・岩本副理事長が卒業生代表者から記念品を受け取る。 ・受領後、岩本副理事長は降壇、卒業生代表者は所定の椅子に着席する。 		

⑨祝電披露(1分)

- ・卒業生に届いた祝電を読み上げる。
- ・祝電が多数の場合、読み上げは1分とし、会場受付に掲示する。
- ⑩送辞(3分)
 - ・現役メンバー代表者と卒業生代表者が所定の位置に移動する。
 - ・現役メンバー代表者による送辞を読み上げる。
 - ・送辞終了後、現役メンバー代表者から卒業生代表者に送辞を授与する。
- ⑪答辞(3分)
 - ・卒業生代表者による答辞を読み上げる。
 - ・答辞終了後、卒業生代表者から現役メンバー代表者に答辞を授与する。
 - ・現役メンバー代表者は席に戻り、卒業生代表者は壇上の所定の椅子に着席する。

⑫卒業生退場(19分)

- ・卒業生全員写真撮影後、卒業生が壇上から順番に降壇する。
- ・特別会員側7名、現役メンバー側に7名それぞれ分かれて頂き会場を一周して各個人にご挨拶をして頂く。
- ・最後に舞台中央に卒業生全員が集合して一礼し、レッドカーペットを通り退場して頂く。

⑬閉会宣言(1分)

【忘年会】(120分) 忘年会のみの参加者の席に卒業式パンフレットを配布

- ①開会宣言(1分)
- ②オープニング映像(5分)
- ③2019年度役員紹介(5分)
 - ・小西専務理事より2019年度役員の紹介をして頂く。
 - ・紹介された役員が1名ずつ登壇し、舞台中央で一礼後、所定の位置に移動する。
 - ・登壇時、三浦理事長が選曲したBGMを流す。
- ④理事長挨拶(5分)
 - ・三浦理事長より1年間の活動の振り返りなどをご挨拶頂く。
- ⑤オブザーバー紹介(1分)
 - ・司会 田村委員より、オブザーバーを紹介する。
- ⑥乾杯(4分)
 - ・飛竹会会長 谷 明憲 様より乾杯のご発声を頂く。
- ⑦アトラクション(10分)
- ⑧食事歓談(45分)
- ⑨2019年度新入会員紹介(5分)
 - ・拡大会議上原史明議長より一人ずつ紹介して頂く。
 - ・紹介された新入会員が1名ずつ登壇し、舞台中央で一礼後、所定の位置に移動する。
 - ・登壇後、新入会員代表者より一言スピーチして頂く。
- ⑩2019年度出向者紹介(15分)
 - ・小西専務理事より2019年度出向者の紹介をして頂く。
 - ・紹介された出向者が1名ずつ登壇し、所定の位置に移動する。
 - ・登壇後、出向者代表者より一言スピーチして頂く。
- ⑪2020年度役員紹介(13分)
 - ・2020年度専務理事予定者より2020年度役員の紹介をして頂く。
 - ・紹介された役員が1名ずつ登壇し、舞台中央で一礼後、所定の位置に移動する。
 - ・全員登壇後、達城理事長予定者より次年度に向けてのご挨拶を頂く。
- ⑫若い我等齊唱(5分)
 - ・参加者全員で大きな輪を作り、肩を組んで齊唱する。
- ⑬一本締め(5分)
 - ・小西専務理事より締めの挨拶をして頂く。
- ⑭閉会宣言(1分)

目的達成の検証	目的に達した点	<p>卒業式</p> <p>①【オープニング映像】において、2019年度の事業や活動風景、卒業生の今までの活動の様子を振り返ったことで、感動的で達成感にあふれるフィナーレの一助となった。</p> <p>②【卒業生入場映像】において、卒業生一人ひとりの軌跡をたどり、輝いた姿を投影しながら、レッドカーペット上を入場したことで、それぞれの活動を懐かしみ、雄姿を見送る事の一助となった。</p> <p>③【卒業生スピーチ】において、14名の卒業生のうち12名の卒業生からのスピーチを聞くことで、それぞれが活動で得た誇りと成長を感じ、雄姿を目に焼き付け、青年会議所活動に対する意識を継承する一助となった。</p> <p>④【花束贈呈】において、卒業生が特にかかわりの深いメンバーからの送る言葉と花束を受け取ることで、卒業生、贈呈者、見ていたメンバーに感動的なフィナーレの一助となった。</p> <p>⑤【送辞・答辞】において、現役メンバーの代表者と卒業生代表者の想いを感じることで、青年会議所活動の意識を継承する一助となった。</p> <p>忘年会</p> <p>①【オープニング映像】において、2019年度の事業を振り返り、共に活動した仲間との時間を思い出し参加者の絆がより強固なものとなる一助になった。</p> <p>②【2019年度役員紹介・理事長挨拶】において、本年度乙訓青年会議所を支えてきた役員の姿と三浦理事長の最後の公式挨拶を聞いたことで、仲間としての絆が深まる一助となった。</p> <p>③【2019年度新入会員紹介】において、本年度入会した5名のメンバーを再認識し、新たに仲間となったメンバーのスピーチを聞いたことで参加者の絆がより強固なものとなる一助となった。</p> <p>④【2019年度出向者紹介】において、本年度出向した43名のメンバーの姿を見て、出向者代表スピーチを聞いたことで、出向した者同士や出向を支えてくれたメンバーの絆が強固となる一助となった。</p> <p>⑤【2020年度役員紹介】において、新たな年を迎えるスタートを切る組織の正副メンバーを見て、達城理事長予定者のスピーチを聞いたことで、次年度も一丸となって取り組む姿勢と参加者の絆が強固となる一助となった。</p>																			
	点か達目 つし的 たなに	無																			
今後の展望	今後も卒業されるメンバーを現役メンバーがしっかりと見送り、想いを継承していく必要があると考えます。																				
参加動員数	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">計画</th> <th>一般</th> <th>58</th> <th rowspan="3">結果</th> <th>一般</th> <th>42/38</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>JC会員</th> <th>59</th> <th>JC会員</th> <th>51/51</th> </tr> <tr> <th>合計</th> <th>117</th> <th>合計</th> <th>93/89</th> </tr> </tbody> </table>							計画	一般	58	結果	一般	42/38	JC会員	59	JC会員	51/51	合計	117	合計	93/89
計画	一般	58	結果	一般	42/38																
	JC会員	59		JC会員	51/51																
	合計	117		合計	93/89																
予算	内部事業資金	¥668,000	外部導入資金	¥0	予算合計	¥668,000															
決算	内部事業資金	¥657,684	外部導入資金	¥0	決算合計	¥657,684															

理 事 会

回 数	開 催 日 場 所	審 議 事 項
第1回 (予定者)	2018年10月 2日(火) 円明寺ヶ丘自治会館 1階 会議室	1) 基本理念・基本方針(案)に関する件 2) スローガン・テーマ(案)に関する件 3) 理事長所信(案)に関する件 4) 組織図(案)に関する件 5) 会議・構成員(案)に関する件 6) 事業計画(案)に関する件 7) 委員会・会議体活動計画(案)に関する件 8) 会議体設置(案)に関する件 9) 委員会配属(案)に関する件 10) 事業計画書・予算書に関する件 a) 役員セミナー
第2回 (予定者)	2018年10月24日(水) 大原野総合自治会館 2階 会議室	1) 議長方針(案)に関する件 a) 会員拡大会議 2) 委員長方針(案)に関する件 a) J C ネットワーク構築委員会 b) 防災教育委員会 c) 40周年特別委員会 d) 総務財政委員会 e) 広報戦略委員会 f) J A Y C E E育成委員会 3) 第1次収支予算(案)に関する件 4) 委員会配属(案)に関する件
第3回 (予定者)	2018年11月12日(月) 円明寺ヶ丘自治会館 1階 会議室	1) 委員長方針(案)に関する件 a) 防災教育委員会 b) 40周年特別委員会 c) J A Y C E E育成委員会 d) 広報戦略委員会 2) 事業予算支出依頼書に関する件 a) 乙訓新聞 b) 長岡市長選挙マニフェスト志向型公開討論会 3) 会員選考委員会設置(案)に関する件 4) 入会基準(案)に関する件

		5) 諸登録料（案）に関する件 6) 事業計画（案）に関する件 7) 褒賞基準（案）に関する件 8) 委員会配属（案）に関する件
第4回 (予定者)	2018年12月 7日(月) 円明寺ヶ丘自治会館 1階 会議室	1) 委員長方針（案）に関する件 a) 広報戦略委員会 2) 事業計画書・収支予算書に関する件 a) 1月例会・新春交歓会 3) 事業予算支出依頼書に関する件 a) 40周年横断幕、PR映像 b) 長岡市長選挙マニフェスト志向型公開討論会 c) 乙訓新聞 d) 乙訓JCホームページ
第1回 (臨時予定者)	2018年12月16日(日) 大原野総合自治会館 2階 会議室	1) 事業予算支出依頼書に関する件 a) 乙訓新聞 b) 乙訓JCホームページ c) 長岡市長選挙マニフェスト志向型公開討論会
第1回 (臨時)	2019年 1月 4日(金) JCルーム	1) 委員会配属（案）に関する件
第1回	2019年 1月15日(火) 大原野総合自治会館 2階 会議室	1) 事業計画書・収支予算書に関する件 a) 乙訓文化少年団団員募集 b) 2月例会 2) 第2次収支予算（案）に関する件 3) 通常総会に付議すべき事項に関する件
第2回 (臨時)	2019年 1月28日(月) 長岡市中央生涯学習センタ ー 4階 学習室1	1) 事業計画書・収支予算書に関する件 a) 2月例会
第2回	2019年 2月20日(木) 大原野総合自治会館 2階 会議室	1) 事業計画書修正予算書に関する件 a) 長岡市長選挙マニフェスト志向型公開討論会 2) 事業決算支出報告書に関する件 a) 長岡市長選挙マニフェスト志向型公開討論会 3) 事業報告・決算書に関する件 a) 1月例会・新春交歓会 b) 役員セミナー 4) 事業予算支出依頼書に関する件 a) 3LOM交流会

		<ul style="list-style-type: none"> b) まちづくり実行委員会 5) 事業計画書・収支予算書に関する件 <ul style="list-style-type: none"> a) 3月オープン例会 b) 乙訓文化少年団 c) 4月メモリアル100%出席例会
第3回 (臨時)	2019年 3月 1日(木) 大原野総合自治会館 2階 会議室	<ul style="list-style-type: none"> 1) 事業計画書・収支予算書に関する件 <ul style="list-style-type: none"> a) 3月オープン例会
第3回	2019年 3月20日(木) 大原野総合自治会館 2階 会議室	<ul style="list-style-type: none"> 2) 4月新入会員入会に関する件 3) 新入会員委員会配属（案）に関する件
第4回 (臨時)	2019年 3月26日(火) ハーミットグリーンカフェ	<ul style="list-style-type: none"> 1) 事業予算支出依頼書に関する件 <ul style="list-style-type: none"> a) 向日市長選挙マニフェスト志向型公開討論会
第4回	2019年 4月18日(木) 大原野総合自治会館 2階 会議室	<ul style="list-style-type: none"> 1) 事業計画書・収支予算書修正に関する件 <ul style="list-style-type: none"> a) 3月オープン例会 2) 事業決算支出報告書に関する件 <ul style="list-style-type: none"> a) 3LOM交流会 3) 事業報告・決算書に関する件 <ul style="list-style-type: none"> a) 2月例会 b) 3月オープン例会
第5回	2019年 5月17日(木) 大原野総合自治会館 2階 会議室	<ul style="list-style-type: none"> 1) 事業計画書・収支予算書修正に関する件 <ul style="list-style-type: none"> a) 公開討論会 b) 4月メモリアル100%出席例会 2) 事業報告・決算書に関する件 <ul style="list-style-type: none"> a) 公開討論会 b) 40周年横断幕・PR映像 3) 事業決算支出報告書に関する件 <ul style="list-style-type: none"> a) 3月オープン例会 b) 4月メモリアル100%出席例会 4) 事業計画書・予算書に関する件 <ul style="list-style-type: none"> a) 6月例会 b) 7月例会 5) その他の議案書に関する件 <ul style="list-style-type: none"> a) 選挙管理委員会設置（案）に関する件

第6回	2019年 6月17日(月) 大原野総合自治会館 2階 会議室	1) 事業計画書・収支予算書に関する件 a) 5月オープン例会 2) 事業報告・決算書に関する件 a) 乙訓文化少年団員募集 b) 5月オープン例会 3) 事業計画書・収支予算書に関する件 a) 8月例会
第7回	2019年 7月18日(木) 大原野総合自治会館 2階 会議室	1) 事業報告・決算書に関する件 a) 6月例会 2) 事業計画書・収支予算書に関する件 a) 9月例会・40周年記念事業 ・乙訓DREAMフェスタ 3) 8月新入会員入会に関する件 4) 新入会員委員会配属(案)に関する件
第5回 (臨時)	2019年 7月24日(水) 大山崎ふるさとセンター	1) 事業計画書・収支予算書に関する件 a) 9月例会・40周年記念事業 ・乙訓DREAMフェスタ
第8回	2019年 8月19日(月) 大原野総合自治会館 2階 会議室	1) 事業報告・決算書に関する件 a) 7月例会 2) 事業計画書・収支予算書に関する件 a) 10月例会
第9回	2019年 9月12日(木) 大原野総合自治会館 2階 会議室	1) 事業報告・決算書に関する件 a) 8月例会 2) 事業計画書・収支予算書に関する件 a) 11月例会 3) 9月新入会員入会に関する件 4) 新入会員委員会配属(案)に関する件
第6回 (臨時)	2019年 9月19日(木) 夷川燕楽	1) 第1回臨時総会に付議すべき事項に関する件

第10回	2019年10月17日(木) 大原野総合自治会館 2階 会議室	1) 事業報告・決算書に関する件 a) 9月例会・40周年記念事業 ・乙訓DREAMフェスタ 2) 事業計画書・収支予算書に関する件 a) FTセミナー b) 12月例会 c) 12月卒業式・忘年会
第7回 (臨時)	2019年10月28日(月) 大原野総合自治会館 2階 会議室	1) 事業計画書・収支予算書に関する件 a) FTセミナー
第11回	2019年11月21日(木) 大原野総合自治会館 2階 会議室	1) 事業報告書・収支決算書に関する件 a) 10月例会 2) 事業予算支出依頼書に関する件 a) 40周年記念冊子 3) 第2回臨時総会に付議すべき事項 4) 乙訓JCグランドスラム賞・特別功労賞・ 出向者特別賞・最優秀新人賞・優秀会員賞・ 最優秀会員賞に関する件
第12回	2019年12月26日(木) 長岡京市立産業文化会館 3階会議室	1) 事業予算支出依頼書修正に関する件 a) 乙訓文化少年団 b) 乙訓まちづくり実行委員会 2) 事業決算支出報告書に関する件 a) 乙訓まちづくり実行委員会 b) 乙訓新聞 c) 乙訓青年会議所ホームページ 3) 事業報告書・収支決算書に関する件 a) 11月例会 b) FTセミナー c) 乙訓文化少年団 d) 12月例会 e) 12月卒業式・忘年会 4) 特別会員入会に関する件
第8回 (臨時)	2020年 1月12日(日) 大原野総合自治会館 2階 会議室	1) 事業決算支出報告書に関する件 a) 40周年記念冊子 2) 通常総会に付議すべき事項に関する件

常 設 委 員 会 ・ 会 議 体

1. J A Y C E E 育成委員会（主たる事業）

- ① 2月例会の開催
- ② 6月例会の開催
- ③ F T セミナーの開催
- ④ 11月例会の開催
- ⑤ 公益社団法人日本青年会議所セミナープログラムの受講

2. J C ネットワーク構築委員会（主たる事業）

- ① 京都ブロック協議会会長公式訪問の開催
- ② 3 L O M 合同交流会の開催（乙訓開催）
- ③ 10月例会の開催（出向者報告）
- ④ 12月卒業式・忘年会の開催
- ⑤ 各事業案内の取りまとめ及び参加促進に関する事項
- ⑥ 各種懇親会の設営・運営
- ⑦ 公益社団法人日本青年会議所・協働運動の実践、連携、推進
- ⑧ J C I ・ 公益社団法人日本青年会議所・近畿地区協議会・京都ブロック協議会・各地青年会議所に関する案内・参加動員に関する事項
- ⑨ L O M 外情報に関する内部発信
- ⑩ 出向者支援に関する事項

3. 防災教育委員会（主たる事業）

- ① 5月例会の開催（オープン例会）
- ② 8月例会の開催（文化少年団事業と同日開催）
- ③ ケイジャーズカップ実行委員会への連携
- ④ 乙訓文化少年団の運営
- ⑤ 乙訓地方小学生駅伝大会委員会への連携
- ⑥ 防災ネットワークの構築と防災意識の醸成
- ⑦ 二市一町の行政・各諸団体との連携

4. 広報戦略委員会（主たる事業）

- ① 3月例会の開催（オープン例会）
- ② 7月例会の開催
- ③ 行政・地域諸団体の情報の収集及び管理
- ④ 青年会議所活動及び地域活動の外部発信並びに会報「乙訓新聞」の制作・発行及び管理（年12回）

- ⑤公式ホームページの制作及び管理
- ⑥L O M内外各種事業の記録データの管理
- ⑦各種選挙における公開討論会の実施

5. 40周年特別委員会（主たる事業）

- ①1月例会・新春交歓会の開催
- ②4月メモリアル100%出席例会の開催
- ③9月例会の開催
- ④40周記念年式典及び記念事業の実施
- ⑤新たな未来Visionの発表
- ⑥40周年記念誌の発刊
- ⑦会員及び特別会員との親睦に関する事項

6. 総務財政委員会（主たる事業）

- ①役員セミナー・事務事項説明会の開催
- ②12月例会の開催
- ③総務及び庶務に関する事項
- ④事務局の管理運営に関する事項
- ⑤会員名簿及び基本資料の作成
- ⑥会員の褒賞・表彰及びブロック等への事業褒賞申請に関する事項
- ⑦総会及び理事会・正副理事長会議の設営・運営
- ⑧議案の管理に関する事項
- ⑨財務、会計一般に関する事項
- ⑩財務、コンプライアンス会議の設営・運営

7. 会員拡大会議（主たる事業）

- ①会員拡大会議の実施
- ②拡大事業の開催（年2回 3月、8月）
- ③拡大強化月間の計画実行
- ④会員拡大活動に関する情報管理と更新
- ⑤各委員会への会員拡大活動の支援
- ⑥会員拡大活動の実施と検証
- ⑦入会説明会の随時開催
- ⑧新入会員の入会に至るまでのサポート
- ⑨新入会員の入会後のサポート
- ⑩新入会員入会式の設営・運営

月	日	曜日		場所	人数	
2018						
8月	24	土	飛竹会常任幹事会	宮川町 鮎久屋	3	理事長他
9月			京都ブロック(協)会長面談(副会長・委員長)			
	20	木	京都ブロック(協)第1回理事長候補者ミーティング	ガレリアかめおか	2	理事長他
	26	火	第36回歴代理事長会	うお嘉	9	理事長他
	27	木	京都ブロック(協)第2回正副会長候補者会議 京都ブロック(協)第1回役員候補者会議	ガレリアかめおか ガレリアかめおか	2 3	達城監事他 達城監事他
10月	7	日	第67回全国大会宮崎大会「2019年度理事長予定者セミナー」 第67回全国大会宮崎大会「2019年度専務理事予定者セミナー」	メディキット県民文化センター コンサートホール メディキット県民文化センター 演劇ホール		台風の為、参加自粛 台風の為、参加自粛
	10	水	京都ブロック(協)第3回正副会長候補者会議 京都ブロック(協)第2回役員候補者会議	亀岡 亀岡	3 3	達城監事他 達城監事他
	18	木	京都ブロック(協)第4回正副会長候補者会議	亀岡	2	達城監事他
	19	金	乙訓青年会議所飛竹会 懇親会	畠かく	16	理事長他
	22	月	京都ブロック(協)第3回役員候補者会議	亀岡	3	達城監事他
	26	日	京都ブロック(協)第1回会員会議所候補者会議 京都ブロック(協) 2018年度 委員会報告会並びに本次年度合 同懇親会	ANAクラウンプラザホテル ANAクラウンプラザホテル	2 28	理事長他 理事長他
	27	土	役員セミナー	長岡京市中央生涯学習センター	25	総務財政他
	29	月	事務事項説明会	長岡京市中央生涯学習センター	31	総務財政他
	9	金	青松会 2018年度総会			
	10	土	京都ブロック(協)第5回正副会長候補者会議	亀岡	2	達城監事他
11月	11	日	長岡京市ガラシャ祭	長岡京市	24	理事長他
	19	月	京都ブロック(協)第4回役員候補者会議	ガレリア亀岡	3	達城監事他
			京都会議臨時事務所 事務所開き	京都市内		
			ケイジャーズ総会			
	28	水	京都ブロック(協)第2回会員会議所候補者会議		4	理事長他
	6	木	京都ブロック(協)第6回正副会長候補者会議	亀岡	2	達城監事他
12月	17	月	京都ブロック(協)第5回役員候補者会議	亀岡	3	達城監事他
	21	金	京都ブロック(協)第3回会員会議所候補者会議	メルパルク京都	4	理事長他
	25	火	ガラシャ祭実行委員会 役員会	長岡京市役所	1	達城監事
	26	水	長岡京市長選挙マニフェスト志向型公開討論会	長岡京市中央生涯学習センター	31	広報戦略他
	27	木	事務局納め	JCルーム	11	理事長他
2019						
1月	4	金	事務局開き	JCルーム	3	理事長他
			長岡京市年賀交歓会	長岡京市立産業文化会館1階	15	理事長他
			二市一町行政挨拶まわり	二市一町他	15	理事長他
	6	日	(一社)城陽青年会議所 1月新年例会	文化パルク城陽	15	理事長他
	7	月	宇治JC初釜	宇治市営茶室 対鳳庵	2	理事長他
			(一社)宇治青年会議所 1月例会・新春交流会	花やしき 浮舟園	18	理事長他
	9	水	(一社)亀岡青年会議所 1月新年例会並びに賀詞交歓会	ガレリア亀岡	22	理事長他
	10	木	(公社)京都青年会議所 1月例会並びに新春交歓会	京都ホテルオーラ	13	理事長他
	11	金	1月例会・新春交歓会	ハイアットリージェンシー京都	39	理事長他
	12	土	(一社)山城青年会議所 1月新春例会	けいはんなプラザ	17	理事長他
			青松会 初釜	上田先生宅		

14	月	(一社)福知山青年会議所 1月新年例会	サンプラザ万助	19	理事長他
15	火	京都ブロック(協)正副役員会議	船井	3	達城監事他
17～20		日本JC京都会議			
18	金	近畿地区(協)第1回会員会議所	国立京都国際会館	2	理事長他
		近畿地区ナイト	ウェスティン都ホテル	4	上原副委員長他
		公益社団法人日本青年会議所 総会	国立京都国際会館	2	理事長他
19	土	LOMナイト		33	理事長他
		京都ブロックナイト		33	理事長他
26	土	京都ブロック(協)第1回会員会議所会議	山城	4	理事長他
27	日	厄年参り	石清水八幡宮	9	2019年度卒業予定者
31	木	通常総会・京都ブロック(協) 会長訪問	長岡京市中央生涯学習センター	37	理事長他
2月	8	金 飛竹会常任幹事会・歴代理事長会	うお嘉	16	理事長他
	9	土 京都ブロック(協)第2回正副役員会議		3	達城監事他
	13	水 京都ブロック(協)総務財政委員会オーブン委員会(SDGs勉強会)	亀岡市役所庁舎 亀岡市民ホール	22	理事長他
	21	木 京都ブロック(協)第2回会員会議所会議		4	理事長他
	24	日 桂川クリーン大作戦	桂川流域	29	理事長他
3月	2	土 京都ブロック(協)第3回正副役員会議		3	理事長他
	3	月 第1回 まちづくり実行委員会	長岡京市中央生涯学習センター	14	40周年特別他
	8	金 第29回乙訓地方小学生駅伝大会 幹事会	乙訓総合庁舎	2	理事長他
	17	日 3LOM交流事業・懇親会	大山崎町体育館	29	理事長他
		ケイジャーズカップ 決勝大会		7	防災教員他
	22	金 創立40周年記念式典・懇親会事前説明会	ウェスティン都ホテル京都		理事長他
	23	土 公益社団法人日本青年会議所 総会	東京ビッグサイト	2	理事長他
	25	月 長岡京ガラシャ祭実行委員会 役員会	長岡京市役所	3	理事長他
	27	水 乙訓JC創立40周年記念チャリティーゴルフコンペ	瑞穂ゴルフ俱楽部	16	理事長他
4月	30	土 京都ブロック(協)第3回会員会議所会議	乙訓	8	理事長他
	2	火 まちづくり実行委員会	長岡京市中央生涯学習センター	7	40周年特別他
	9	火 向日市長選挙マニフェスト志向型公開討論会	向日市商工会 会議室	12	広報戦略他
	7	日 乙訓文化少年団4月事業「発団式・防災体験」	京都市市民防災センター	24	防災教員他
	13	土 乙訓JC創立40周年記念式典・懇親会	ウェスティン都ホテル京都	57	理事長他
	15	月 第48回日本JCIじゅがいもクラブ西日本地区大会	泉ヶ丘カントリークラブ	7	理事長他
	18	木 京都ブロック(協)第4回正副役員会議	京都	3	達城監事他
5月	27	土 京都ブロック(協)第4回会員会議所会議	城陽	4	理事長他
	6	月 京都ブロック(協)ソーシャルデザイナー育成事業		29	理事長他
	7	火 第3回乙訓まちづくり実行委員会	長岡京市中央生涯学習センター	12	40周年特別他
	11	土 京都ブロック(協)第5回正副役員会議	京丹後	3	達城監事他
	12	日 乙訓文化少年団 5月事業「料理教室」	大山崎町中央公民館 料理講習室	26	防災教員他
	15	水 長岡京ガラシャ祭実行委員会 第1回イベント部会	長岡京市立産業文化会館	1	山口委員長
	16	木 第1回「親育ネットおとくに」協議会	京都府乙訓総合庁舎	1	上原副理事長
	17	金 長岡京市ガラシャ祭 役員会	長岡京市役所	2	理事長他
		近畿地区(協) 第2回 災害リスクヘッジ会議	兵庫県西宮市		
18	土	京都ブロック(協)第5回会員会議所会議	福知山	4	理事長他

19	日	第47回京都ブロック大会福知山大会	福知山	34	理事長他
25	土	長岡京市ガラシャ祭実行委員会 総会	長岡京市役所	3	理事長他
28	火	京都ブロック(協)SDGsカードゲーム勉強会	南丹市国際交流会館	16	理事長他
30	木	ポテトカップチャリティーゴルフコンペ	近江カントリー倶楽部	7	理事長他
6月	2 日	乙訓文化少年団6月事業「防災に使えるグッズの製作」	長岡京市立産業文化会館	24	防災教員他
		GTSお見送り	ローソン 長岡京インター店	23	理事長他
	2~6	GTS	インドネシア・バリ島	1	坂元委員長
	4 火	第4回まちづくり実行委員会	長岡京市中央生涯学習センター	10	40周年特別他
	5 水	第43回 乙訓JCじゃがいもクラブ例会ゴルフコンペ	亀岡カントリークラブ	10	理事長他
	6 木	GTSお出迎え	関西国際空港 第1ターミナルビル	13	理事長他
	8 土	京都ブロック(協)第6回正副役員会議	亀岡	3	達城監事他
	17~21	ASPAC	濟州島	1	坂元委員長
	19~21	国際ミッション	濟州島	25	理事長他
	21 金	国際ミッション&ASPAC お出迎え	関西国際空港 第1ターミナルビル		
	29 土	京都ブロック(協)第6回会員会議所会議	宇治	4	理事長他
7月	4 火	理事長監事選出委員選挙 期日前投票日	長岡京市立産業文化会館		
	6 金	近畿地区(協)第2回会員会議所会議	亀岡	2	理事長他
	7 土	近畿地区(協)2019年度近畿地区大会	亀岡	33	理事長他
	10 水	理事長監事選出委員選挙 投票日	長岡京市立産業文化会館		
		第30回乙訓地方小学生駅伝大会 委員会総会	乙訓総合庁舎	3	理事長他
	13 土	(一社)宇治青年会議所 創立50周年記念式典並びに祝賀会	パルティール京都	24	理事長他
	15 月	乙訓文化少年団 7月事業「フセマル・プラットホームの講座」	長岡京市中央生涯学習センター	26	防災教員他
		2019年度公益社団法人日本青年会議所 価値デザインの推進に向けた勉強会	長岡京市中央生涯学習センター	36	理事長他
	17 水	京都ブロック(協)第7回正副役員会議	綾部	3	達城監事他
	20~21	公益社団法人日本青年会議所 サマーコンファレンス・LOMナイト	横浜	25	理事長他
	27 土	京都ブロック(協)第7回会員会議所会議		4	理事長他
	28 日	(一社)福知山青年会議所 創立55周年記念式典	サンプラザ万助	24	理事長他
	2 金	理事選挙 投票日	長岡京市立産業文化会館		
	3~4	乙訓文化少年団 8月事業「キャンプ」	青葉山ろく公園	42	理事長他
	6 火	まちづくり実行委員会			40周年特別他
	7 水	長岡京市ガラシャ祭実行委員会 第2回イベント部会	長岡京市立産業文化会館	1	百々副委員長
	23 金	飛竹会常任幹事会	ベンジャミンステーキハウス京都	4	理事長他
	28 水	第3回「親育ネットおとくに」協議会	乙訓総合庁舎	2	上原副理事長他
	29 木	ガラシャ祭実行委員会 役員会	長岡京市役所	1	小西専務理事
9月	1 日	乙訓文化少年団 9月事業「救命教室」	長岡京市立産業文化会館	23	防災教員他
	11 水	にのうみ会 チャリティーゴルフコンペ	亀岡カントリークラブ	8	理事長他
	15 日	9月例会・乙訓DREAMフェスタ2019	向日町競輪場 第4駐車場	51	理事長他
	18 水	京都ブロック(協)第8回正副役員会議		3	達城監事他
	19 木	卒業生主催委員会対抗ゴルフコンペ	大津カントリークラブ	31	2019年度卒業予定者他
		卒業生主催委員会対抗ゴルフコンペ 懇親会	夷川燕楽	37	理事長他
	25 水	歴代理事長会	うお嘉	12	理事長他

28	土	京都ブロック(協)第8回会員会議所会議		4	理事長他
		京都ブロック(協) ソーシャルデザイナー育成事業審査会	舞鶴市商工観光センター コンベンションホール	27	理事長他
	月	第30回乙訓地方小学生駅伝大会 幹事会	乙訓総合庁舎	4	理事長他
		京都ブロック(協) 共感価値創造委員会・オープン委員会	アマーレ京都	9	理事長他
10月	4	金 第1回臨時総会	長岡京市中央生涯学習センター	33	理事長他
	6	日 乙訓文化少年団 10月事業「地域交流」	長岡京消防署	18	防災教員他
	9	水 京都ブロック(協)第8回正副役員会議	福知山	3	達城監事他
	11	金 公益社団法人日本青年会議所第161回総会	オーバー土ホール(富山市)	1	三浦理事長
	12~13	全国大会 (LOMナイト) ※台風の為、任意参加	富山	19	理事長他
	17	木 第4回「親育ネットおとくに」協議会	京都府立西乙訓高等学校	2	上原副委員長他
	18	金 飛竹会幹事会・臨時総会・懇親会	長楽館	21	理事長他
	23	水 京都ブロック(協)総務財政委員会 第3回オープン委員会	舞鶴市政記念館 1階ホール	5	崔直前理事長他
	25	金 京都ブロック(協)第9回会員会議所会議	ANAクラウンプラザホテル	4	理事長他
		京都ブロック(協) 大成会～ブロック報告会並びに伝達式～	ANAクラウンプラザホテル	37	理事長他
11月	2	土 第5回「親育ネットおとくに」協議会	旧都府立西乙訓高校	2	上原副委員長他
	3	日 乙訓文化少年団 11月事業「芋掘り体験」	辻農園	27	防災教員他
	4~8	JCI世界会議	エストニア タリン		
	8	金 ガラシャ祭実行委員会 役員会	長岡京市役所		理事長他
	10	日 長岡京市ガラシャ祭	長岡京市	25	理事長他
	16	土 京都ブロック(協)第10回正副役員会議		3	達城監事他
	13	水 第44回乙訓JCじゃがいもクラブ例会ゴルフコンペ	ベニーカントリー倶楽部	9	理事長他
	29	金 京都ブロック(協)第9回会員会議所会議			
	30	土 乙訓ふるさとふれあい駅伝	二市一町	43	防災教員他
12月	6	金 第1回臨時総会	長岡京市中央生涯学習センター	32	理事長他
	7	土 FTセミナー 1日目	SUBACOグラウンド(大原野)	33	JAYCEE育成他
	8	日 FTセミナー 2日目		32	JAYCEE育成他
		乙訓文化少年団 12月事業「餅つき」	長岡天満宮(第二駐車場南側)	32	防災教員他
	12	木 12月卒業式・忘年会	ハイアットリージェンシー京都	51	理事長他
	19	木 近畿地区協議会 第3回会員会議所会議	京都ホテルオークラ	2	理事長他
		近畿地区協議会2019年度「大納会」	京都ホテルオークラ	5	理事長他
	26	木 ガラシャ祭実行委員会 役員会	長岡京市役所	1	達城監事他
		事務局納め	JCルーム	16	理事長他

公益社団法人乙訓青年会議所
収支決算書
2019年1月1日から2019年12月31日まで

(第1法)

(単位:円)

科目	決算額	予算額	差異	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①特定資産運用収入	782	5,000	△ 4,218	
特定期間資産利息収入	782	5,000	△ 4,218	
②入会金収入	660,000	1,140,000	△ 480,000	
新入会員入会金収入	240,000	720,000	△ 480,000	@60,000円×4名
特別会員入会金収入	420,000	420,000	0	@70,000円×6名(2018年度卒業生)
③会費収入	8,160,000	9,480,000	△ 1,320,000	
正会員会費収入	7,930,000	8,580,000	△ 650,000	@130,000円×60名(5名除名)
新入会員会費収入	230,000	900,000	△ 670,000	新入会員4名分
賛助会員会費収入	0	0	0	
④事業収入	460,000	400,000	60,000	
事業費繰入収入	0	0	0	
登録料収入	460,000	400,000	60,000	文化少年団@10,000円×46名
預り金収入	0	0	0	
⑤補助金等収入	0	0	0	
国庫補助金収入	0	0	0	
地方公共団体補助金収入	0	0	0	
民間補助金収入	0	0	0	
国庫助成金収入	0	0	0	
地方公共団体助成金収入	0	0	0	
民間助成金収入	0	0	0	
⑥寄付金収入	1,630,000	1,510,000	120,000	
飛竹会寄付金収入	500,000	500,000	0	
歴代理事長会寄付金収入	350,000	310,000	40,000	
その他寄付金収入	780,000	700,000	80,000	9月まちづくり事業協賛金
⑦雑収入	289,362	41,500	247,862	
受取利息収入	138	1,500	△ 1,362	
京都ブロック協議会受入収入	0	0	0	
その他雑収入	289,224	40,000	249,224	乙訓JCじゃがいもクラブ事務局費、JCカード手数料、3LOM負担金、JCバッジなど版元費用
事業活動収入計	11,200,144	12,576,500	△ 1,376,356	
2. 事業活動支出				
①事業費支出	8,764,611	8,953,500	△ 188,889	
総務財政委員会	167,028	221,000	△ 53,972	役員セミナー、12月例会
40周年特別委員会	5,529,717	5,400,000	129,717	1月新春、4月メモリアル例会、9月例会、記念誌の発刊、PR
JAYCEE育成委員会	214,665	230,000	△ 15,335	2月例会、6月例会、11月例会、FTセミナー
JCネットワーク構築委員会	689,665	700,000	△ 10,335	10月例会、12月卒業式・忘年会
防災教育委員会	1,155,284	1,305,500	△ 150,216	5月オーブン、8月例会、文化少年団(募集含む)
広報戦略委員会	519,363	550,000	△ 30,637	3月オーブン、7月例会
特別事業費支出	488,889	547,000	△ 58,111	公開討論会、まちづくり実行委員会、3LOM
預り金支出	0	0	0	
②管理費支出	5,339,279	5,943,896	△ 604,617	
会議費支出	156,730	400,000	△ 243,270	総会、総務、正副、理事会会場費
給料手当支出	1,860,000	1,860,000	0	事務局員 @155,000円×12ヶ月
退職給付費用	108,500	108,500	0	年額給与155,000円×70%を毎年積立
福利厚生費支出	406,966	350,000	56,966	事務局員社会保険料、対内向けの慶弔金等
旅費交通費支出	95,040	100,000	△ 4,960	事務局員交通費
通信費・弁送費支出	552,281	478,990	73,291	電話代、切手、定期発送
消耗品支出	264,972	210,000	54,972	2019年度スローガン幕、封筒、文具他
リース料支出	93,312	93,312	0	コピー機1年間 7,200円×1.08×12ヶ月
修繕費支出	0	0	0	
印刷製本費支出	46,281	85,000	△ 38,719	総会資料印刷費、コピー機印刷費等
光熱水料費支出	0	0	0	
貢借料支出	336,154	365,367	△ 29,213	@28,000×3ヶ月、36,154円×1ヶ月 27,000円×8ヶ月
インフォメーション関係費支出	609,757	595,000	14,757	おとくに新聞、乙訓ホームページ変更料、プロバイダ料
保険料支出	0	0	0	
租税公課支出	300	6,000	△ 5,700	印紙代
涉外費支出	0	40,000	△ 40,000	対外向けの慶弔金、電報等
雑支出	808,986	951,727	△ 142,741	ネットバンキング使用料、JCバッチ、会員ネームタグ、会計士手数料他
管理・運営準備費支出	0	300,000	△ 300,000	
③負担金支出	1,490,095	1,629,170	△ 139,075	
JC負担金支出	131,820	131,820	0	@1,690円×(69名)
日本JC負担金支出	385,000	420,000	△ 35,000	
基本基金支出	45,000	45,000	0	会員数50名迄が30,000円 25名増す毎に15,000円を追加
付加金支出	340,000	375,000	△ 35,000	△ 5,000円×(65名+前期入会2名)+@2,500円×後期入会2名
近畿地区協議会負担金支出	122,600	137,000	△ 14,400	
基本金支出	2,000	2,000	0	
付加金支出	120,600	135,000	△ 14,400	@1,800円×(65名+前期入会2名)+@0円×後期入会2名
京都ブロック協議会負担金支出	506,000	555,000	△ 49,000	
基本金支出	30,000	30,000	0	
付加金支出	476,000	525,000	△ 49,000	@7,000円×(65名+前期入会2名)+@3,500円×後期入会2名
国際協力資金支出	125,925	142,350	△ 16,425	@1,825円×(69名)
日本JC出向者負担金支出	0	0	0	受益者負担のため
WeBelieve講読料支出	200,750	225,000	△ 24,250	
京都会議登録料	8,000	8,000	0	
京都会議ブロッカーナイト登録料	10,000	10,000	0	
事業活動支出計	15,593,985	16,526,566	△ 932,581	
事業活動収支差額	△ 4,393,841	△ 3,950,066	△ 443,775	
科目	予算額	予算額	増減	備考
I 事業活動収支の部				
1. 投資活動収入				
①特定資産取崩収入	3,400,000	2,900,000	500,000	
会員基本基金資産取崩収入	1,000,000	500,000	△ 500,000	
周年事業引当資産取崩収入	2,000,000	2,000,000	0	
文化少年団基金取崩収入	400,000	400,000	0	
退職給付引当資産取崩収入	0	0	0	
投資活動収入計	3,400,000	2,900,000	500,000	
2. 投資活動支出				
①特定資産取得支出	500,000	500,000	0	
会員基本基金資産取得支出	0	0	0	
周年事業引当資産取得支出	500,000	500,000	0	
退職給付引当資産取得支出	0	0	0	
投資活動支出計	500,000	500,000	0	
投資活動収支差額	2,900,000	2,400,000	500,000	
II 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
①借入金収入	0	0	0	
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
①借入金返済支出	0	0	0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出	0	0	0	
当期収支差額	△ 1,493,841	△ 1,550,066	56,225	
前期繰越収支差額	1,495,655	1,550,066	△ 54,411	
次期繰越収支差額	1,814	0	1,814	

貸借対照表

2019年12月31日現在

(単位：円)

科 目	本年度（2019.12）	前年度（2018.12）	差額
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	22,178	93,705	△ 71,527
普通預金	1,005,636	2,301,592	△ 1,295,956
流動資産計	1,027,814	2,395,297	△ 1,367,483
2. 固定資産			
特定資産			
会員基本基金定期預金	16,956,000	17,956,000	△ 1,000,000
周年事業積立目的定期預金	500,000	2,000,000	△ 1,500,000
退職給付引当定期預金	1,158,500	1,050,000	108,500
文化少年団基金定期預金	1,620,173	2,020,169	△ 399,996
特定資産計	20,234,673	23,026,169	△ 2,791,496
固定資産計	20,234,673	23,026,169	△ 2,791,496
資 産 合 計	21,262,487	25,421,466	△ 4,158,979

科 目	本年度（2019.12）	前年度（2018.12）	差額
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0	54,000	△ 54,000
預り金	0	17,231	△ 17,231
前受金	1,026,000	828,000	198,000
流動負債計	1,026,000	899,231	126,769
2. 固定負債			
退職給付引当金	1,158,500	1,050,000	108,500
固定負債計	1,158,500	1,050,000	108,500
負 債 合 計	2,184,500	1,949,231	235,269
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	19,077,987	23,472,235	△ 4,394,248
(うち特定資産への充当額)	19,077,987	23,472,235	△ 4,394,248
(うち特定資産への充当額)	(19,076,173)	(21,976,169)	2,899,996
正味財産合計	19,077,987	23,472,235	△ 4,394,248
負債・正味財産合計	21,262,487	25,421,466	△ 4,158,979

財産目録
2019年12月31日現在

(単位 : 円)

科 目	金 額
I 資産の部	
1. 流動資産	
現金預金	1,027,814
現金	22,178
普通預金	1,005,636
京都銀行 長岡支店 №.825989	569,861
京都中央信用金庫 長岡支店 №.0458502	418,179
ゆうちょ銀行 №.14460-42856541	7,587
京都中央農業協同組合 神足支店 №.0004312	10,009
京都中央信用金庫 長岡支店 №.0911759	0
京都中央信用金庫 長岡支店 №.0911760	0
京都中央信用金庫 長岡支店 №.0911771	0
京都中央信用金庫 長岡支店 №.0911782	0
京都中央信用金庫 長岡支店 №.0911793	0
京都中央信用金庫 長岡支店 №.0911806	0
京都中央信用金庫 長岡支店 №.0911817	0
京都中央信用金庫 長岡支店 №.0936718	0
京都中央信用金庫 長岡支店 №.0992458	0
京都中央信用金庫 長岡支店 №.1002027	0
京都中央信用金庫 長岡支店 №.1002038	0
京都中央信用金庫 長岡支店 №.1024736	0
流動資産合計	1,027,814
2. 固定資産	
特定資産	
会員基本基金定期預金	16,956,000
京都中央信用金庫 長岡支店 №.0008001	850,000
京都中央農業協同組合 神足支店 №.06350556	8,000,000
ゆうちょ銀行 №.54470-4693984(2口)	8,106,000
周年事業積立目的定期預金	500,000
京都銀行 長岡支店 №.1124732	500,000
退職給付引当定期預金	1,158,500
京都銀行 長岡支店 №.1124740	1,158,500
文化少年団基金定期預金	1,620,173
京都銀行 長岡支店 №.1124758	1,620,173
固定資産合計	20,234,673
資産合計	21,262,487
II 負債の部	
1. 流動負債	
未払金	0
0	0
預り金	0
源泉税預り金	0
前受金	1,026,000
2020年度正会員受取会費および入会金	1,026,000
流動負債合計	1,026,000
2. 固定負債	
退職給付引当金	1,263,500
固定負債合計	1,263,500
負債合計	2,289,500
III 正味財産	18,972,987

正味財産増減計算書

2019年1月1日から2019年12月31日まで

(単位:円)

科 目	金額
I. 一般正味財産の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
①特定資産運用益	782
特定資産運用益	782
②受取入会金	660,000
新入会員入会金	240,000
特別会員入会金	420,000
③受取会費	8,160,000
正会員	7,930,000
新入会員	230,000
④事業収益	460,000
文化少年団登録料収益	460,000
⑤受取補助金	0
⑥受取寄付金	1,630,000
⑦雑収益	289,362
受取利息	138
京都ブロック協議会受入収益	0
その他雑収益	289,224
経常収益計	11,200,144
(1) 経常費用	
①事業費	8,764,611
会場費	4,084,776
業務委託費	2,254,356
通信運搬費	664,511
消耗品費	263,217
諸謝金	909,441
保険料	112,220
旅費交通費	39,600
事業雑費	436,490
②管理費	5,339,279
会議費	156,730
給料手当	1,860,000
退職給付費用	108,500
福利厚生費	406,966
旅費交通費	95,040
通信・発送費	552,281
消耗品費	264,972
リース料	93,312
印刷製本費	46,281
貸借料	336,154
インフォメーション関係費	609,757
租税公課	300
雑費	808,986
③負担金	1,490,095
JCI負担金	131,820
日本JC負担金	385,000
近畿地区協議会負担金	122,600
京都ブロック協議会負担金	506,000
国際協力資金支出	125,925
日本JC出向者負担金支出	0
WeBelieve購読料支出	200,750
京都会議登録料	8,000
京都会議ブロックナイト登録料	10,000
経常費用計	15,593,985
当期経常増減額	△ 4,393,841
2. 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	
経常外収益計	0
(2) 経常外費用	
経常外費用計	0
当期経常外増減益	0
当期一般正味財産増減額	△ 4,393,841
一般正味財産期首残高	23,471,828
一般正味財産期末残高	19,077,987
II. 指定正味財産の部	
当期指定正味財産増減額	0
指定正味財産期首残高	0
指定正味財産期末残高	0
III. 正味財産期末残高	19,077,987

(監事の監査報告書謄本)

監 査 報 告 書

公益社団法人乙訓青年会議所
理事長 三浦 靖 殿

令和 2 年 1 月 12 日

公益社団法人乙訓青年会議所

監事 達城 英治

監事 田中 望麻



私たちは、公益社団法人乙訓青年会議所の平成 31 年 1 月 1 日から令和元年 12 月 31 日までの会計年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

1. 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を徴収し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査意見

- (1) 収支決算書、正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況及び財産状態を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告の内容は事実であると認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

以 上

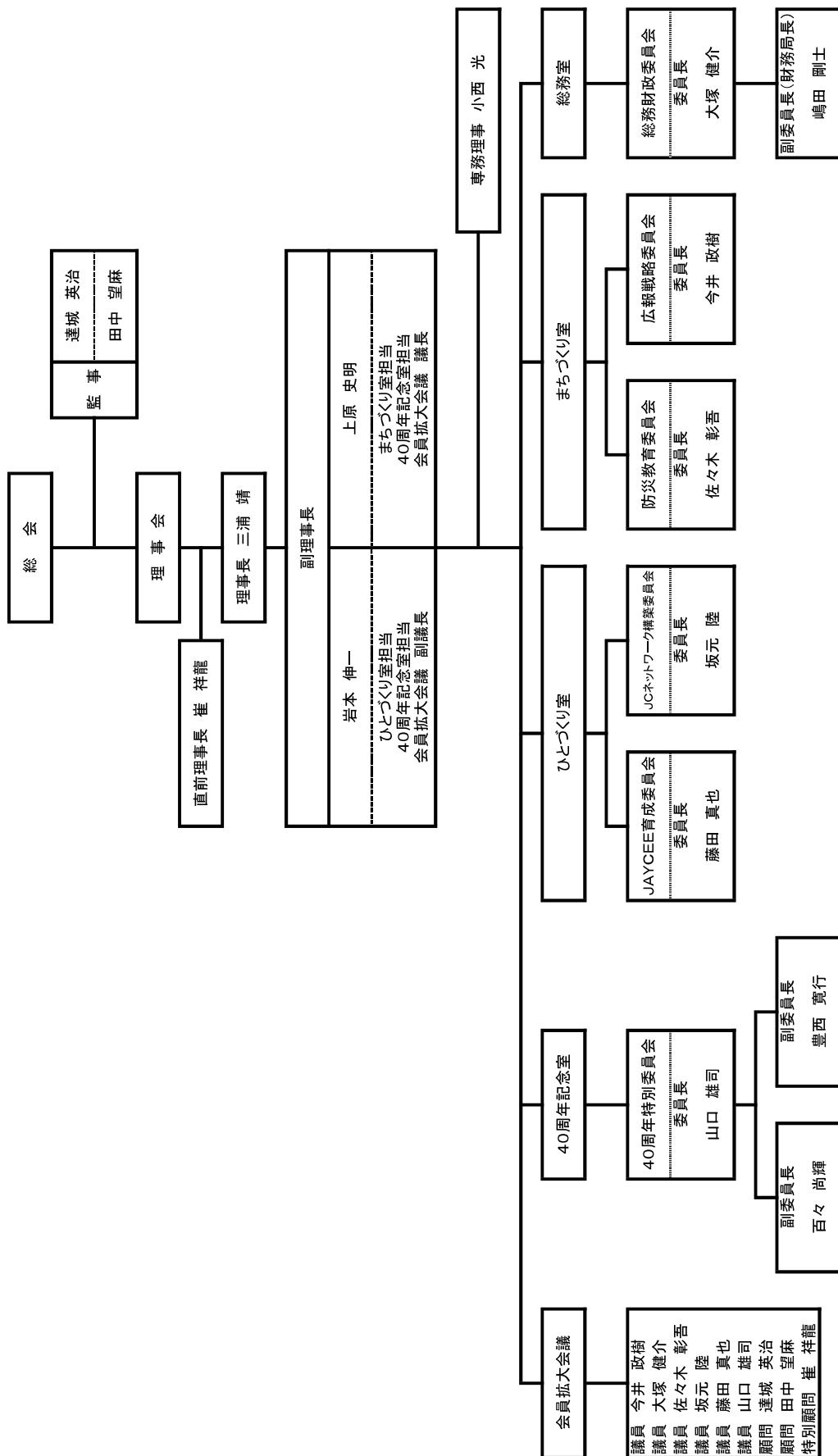
2019年度 公益社団法人乙訓青年会議所
会議構成員

		理事会	正副理事長会議
理事長		三浦 靖	○議長
副理事長		岩本 伸一	○
副理事長		上原 史明	○
専務理事		小西 光	○
理事 (広報戦略委員会 委員長)		今井 政樹	○ ▲
理事 (総務財政委員会 委員長)		大塚 健介	○ ▽司会
理事 (JCネットワーク構築委員会 委員長)		坂元 陸	○ ▲
理事 (防災教育委員会 委員長)		佐々木 彰吾	○ ▲
理事 (JAYCEE育成委員会 委員長)		藤田 真也	○ ▲
理事 (40周年特別委員会 委員長)		山口 雄司	○ ▲
理事 (総務財政委員会 副委員長)		嶋田 剛士	○司会 ▽
理事 (40周年特別委員会 副委員長)		豊 西 寛行	○ ▲
理事 (40周年特別委員会 副委員長)		百々 尚輝	○ ▲
監事		達城 英治	□ □
監事		田中 望麻	□ □
直前理事長		崔 祥龍	□ □

※公益社団法人乙訓青年会議所定款第17条第3項の定める副理事長の職務代行順位は
上段よりとする。

- : 構成員
 - : 常時出席の上、発言できる
 - ▽ : 常時オブザーブ
 - ▲ : 議長の要請を受けて出席する
- 理事会議事録 : 事務局長

四



2019年度 公益社団法人乙訓青年会議所 委員会配属

2019年度 公益社団法人乙訓青年会議所 出向者一覧

【公益社団法人日本青年会議所】

経済グループ 価値デザイン会議	運営幹事	田中 望麻
経済グループ 価値デザイン会議	議員	小野 陽平
経済グループ 価値デザイン会議	議員	佐伯 昌裕
経済グループ 価値デザイン会議	議員	百々 尚輝
経済グループ 価値デザイン会議	議員	山中 拓哉
人材グループ 多子社会創造会議	委員	新庄 洋平
人材グループ 多子社会創造会議	委員	達城 英治

【公益社団法人日本青年会議所 近畿地区協議会】

幸せな近畿確立委員会	委員	草場 大輔
幸せな近畿確立委員会	委員	東石 昇平
幸せな近畿確立委員会	委員	中野 翔太
幸せな近畿確立委員会	委員	平木 竜馬
ディスカバリー推進委員会	副委員長	上原 史明
ディスカバリー推進委員会	委員	河合 良忠
ディスカバリー推進委員会	委員	佐々木 真一
ディスカバリー推進委員会	委員	宮下 祥平

【公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 京都ブロック協議会】

国際交流委員会	副会長	達城 英治
国際交流委員会	委員長	坂元 陸
国際交流委員会	総括幹事	嶋田 剛士
国際交流委員会	会計幹事	西條 利洋
国際交流委員会	委員	岡田 沙也
国際交流委員会	委員	丁ヶ阪 悠祐
国際交流委員会	委員	松宮 一貴
ブロック大会運営委員会	副委員長	林 哲司
ブロック大会運営委員会	委員	河合 良忠
ブロック大会運営委員会	委員	姜 星輝
ブロック大会運営委員会	委員	小林 大希
ブロック大会運営委員会	委員	佐々木 真一
ブロック大会運営委員会	委員	田村 直毅
ブロック大会運営委員会	委員	樋口 京四郎
ブロック大会運営委員会	委員	吉田 直道
道を拓く人財育成委員会	副委員長	山脇 裕文
道を拓く人財育成委員会	委員	佐伯 昌裕
道を拓く人財育成委員会	委員	島本 崇弘
道を拓く人財育成委員会	委員	谷 政憲
道を拓く人財育成委員会	委員	中野 翔太
共感価値創造委員会	副委員長	下戸 一晃
共感価値創造委員会	委員	草場 大輔
共感価値創造委員会	委員	富田 達也
共感価値創造委員会	委員	鳥居 淳希
共感価値創造委員会	委員	平木 竜馬
総務財政委員会	委員	新庄 洋平
総務財政委員会	委員	宮下 祥平
事務局	事務局次長	山城 直也

特 設 委 員 会

1 会員選考委員会

委 員 長	上 原 史 明
副委員長	岩 本 伸 一
委 員	今 井 政 樹
委 員	大 塚 健 介
委 員	坂 元 陸
委 員	佐 々 木 彰 吾
委 員	藤 田 真 也
委 員	山 口 雄 司

2 選挙管理委員会

委 員 長	崔 祥 龍
副委員長	大 塚 健 介
委 員	近 藤 宏 和
委 員	宮 下 祥 平
委 員	百 々 尚 輝

2019年度 公益社団法人乙訓青年会議所 褒賞受賞者

●実質100%出席賞（16名） 今井 政樹 岩本 伸一 上原 史明 小西 光
崔 祥龍 坂元 陸 佐々木彰吾 佐々木真一
嶋田 剛士 達城 英治 田中 望麻 林 哲司
藤田 真也 三浦 靖 宮下 祥平 百々 尚輝

●乙訓JCグランドスラム賞 該当者なし

●出向者特別賞 坂元 陸 嶋田 剛士 山城 直也

●特別功労賞 三浦 靖 崔 祥龍

●最優秀新人賞 小林 大希

●優秀会員賞 林 哲司

●最優秀会員賞 松宮 一貴